

調査研究グループ：

「北海道ニセコリゾート」調査研究プロジェクトチーム

〔速報〕 外国人スキーヤー&スノーボーダー調査研究レポート

本レポートは、平成 22 年度科学研究費補助金の交付を受け、外国人旅行者を対象として行ったスキーヤー&スノーボーダー調査研究の速報である。同志社大学、神奈川大学、北翔大学の研究者 3 名で調査研究プロジェクトチームを結成し、ニセコマウンテンリゾート「グラン・ヒラフ」において 2011 年 3 月 6～8 日に調査を実施した。スキー場における質問紙調査によって収集した有効標本数は 279 票である。



【 調査研究の結果概要 】

- ☑ スキー/スノーボードの経験年数が 20 年以上の者が 3.5 割程度
- ☑ スキー/スノーボード旅行の日数 10～49 日（過去 5 年間）の者が半数以上
- ☑ スキー/スノーボードの技術レベルは中級者が約半数
- ☑ スキー/スノーボード用具の支出額は \$100～\$999（過去 5 年間）が約 3 割
- ☑ スキー/スノーボード関連の支出額は \$2000～\$4999（2010-2011 年）が約 4 割
- ☑ オセアニア/ヨーロッパ/北米の方がアジアからの旅行者よりも関与度が高い
- ☑ オセアニア/ヨーロッパ/北米とアジアからの旅行者でニセコ地域への愛着に差がない
- ☑ スキー/スノーボード旅行の選好において雪質がもっとも重要視されている

平成 22 年度 科学研究費補助金<基盤研究 (C)> (独立行政法人 日本学術振興会)
研究課題名：外国人旅行者を魅了するスポーツ・ツーリズムの観光資源に関する調査研究
研究代表者：同志社大学 スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰
研究分担者：神奈川大学 人間科学部 准教授 工藤康宏
連携研究者：北翔大学 生涯学習システム学部 准教授 石澤伸弘

【 調査概要 】

1. 調査目的：

本調査は、北海道ニセコリゾートを訪問しているスキーヤー&スノーボーダーを対象として、スキー/スノーボードの参加と経験、技能と知識、用具と投資、ライフスタイルにおける中心性、スキー/スノーボード旅行の選好、ニセコリゾートへの地域愛着、個人属性、について調査することによって、スポーツ・ツーリストの行動様式を明らかにすることを目的としている。ニセコリゾートにおけるスキーヤー&スノーボーダーの実態を明らかにすることで、訪日外国人スポーツ・ツーリストを集客するためのマーケティング基礎資料として役立てることを目指している。

2. 調査内容：

- 1) 参加と経験：スキー/スノーボード歴、スキー/スノーボード参加日数（2010-2011 シーズン）、スキー/スノーボード旅行日数（過去5年間）、ニセコリゾート滞在日数（過去5年間）、スキー場訪問数（過去5年間）
- 2) 技能と知識：スキー/スノーボード技能レベル、スキー/スノーボード知識レベル、スキー/スノーボード技術向上の意欲、スキー/スノーボード知識向上の意欲、快適なスロープのレベル
- 3) 用具と投資：スキー用具の所有数、スノーボード用具の所有数、スキー/スノーボード板のレベル、スキー/スノーボード用具の支出額（過去5年間）、スキー/スノーボード関連の支出額（2010-2011 シーズン）
- 4) ライフスタイルにおける中心性：スキー/スノーボードクラブの所属期間、スキー/スノーボードの雑誌講読、スキー/スノーボードの本所有、スキー/スノーボードのビデオ/DVD 所有、自由時間の内のスキー/スノーボードの割合、スキー/スノーボード活動への関与度
- 5) スキー/スノーボード旅行の選好：雪質、リフト料金（8時間）、ゲレンデでの遭遇、アフタースキーを条件とした16の仮想的な旅行プロファイル
- 6) 地域愛着：ニセコリゾートへの地域愛着
- 7) 個人属性：性別、婚姻の有無、年齢、居住地、年収、職業

3. 調査対象：

北海道ニセコリゾートの訪日外国人スポーツ・ツーリスト

4. 調査期間：

2011年3月6日～3月8日

5. 調査方法：

グラン・ヒラフスキー場内の3カ所のレストラン（ファミリーレストラン ピルカ、ヒュッテ キングベル、レストハウス エースヒル）において、外国人スキーヤー/スノーボーダーに対して調査協力を依頼し、英語/中国語の調査票を用いてデータを収集した。

6. 回収結果：

回収数：285 票

有効標本数：279 票

調査研究の結果

本調査研究では、北海道ニセコリゾートを訪問している外国人を居住地別に、オセアニア／ヨーロッパ／北米諸国からの旅行者とアジア諸国からの旅行者のグループに分類して、クロス集計による分析を行った。これらの地域からの旅行者は、スポーツ・ツーリストとしての行動に違いがみられるという仮説に基づいている。

調査研究の結果では、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方がアジアからの旅行者よりも、スキー／スノーボードへの関与度が高い傾向にあったが、スキー／スノーボードの参加と経験、技能と知識、用具と投資、ライフスタイルにおける中心性といったスポーツ活動の専門化、ニセコリゾートへの地域愛着、スキー／スノーボード旅行の選好についての調査項目においてはほとんど差がみられなかった。つまり、オセアニア／ヨーロッパ／北米諸国からの旅行者とアジア諸国からの旅行者は、スポーツ・ツーリストとして同様の行動特性を示しており、同質のセグメントであると考えられる。

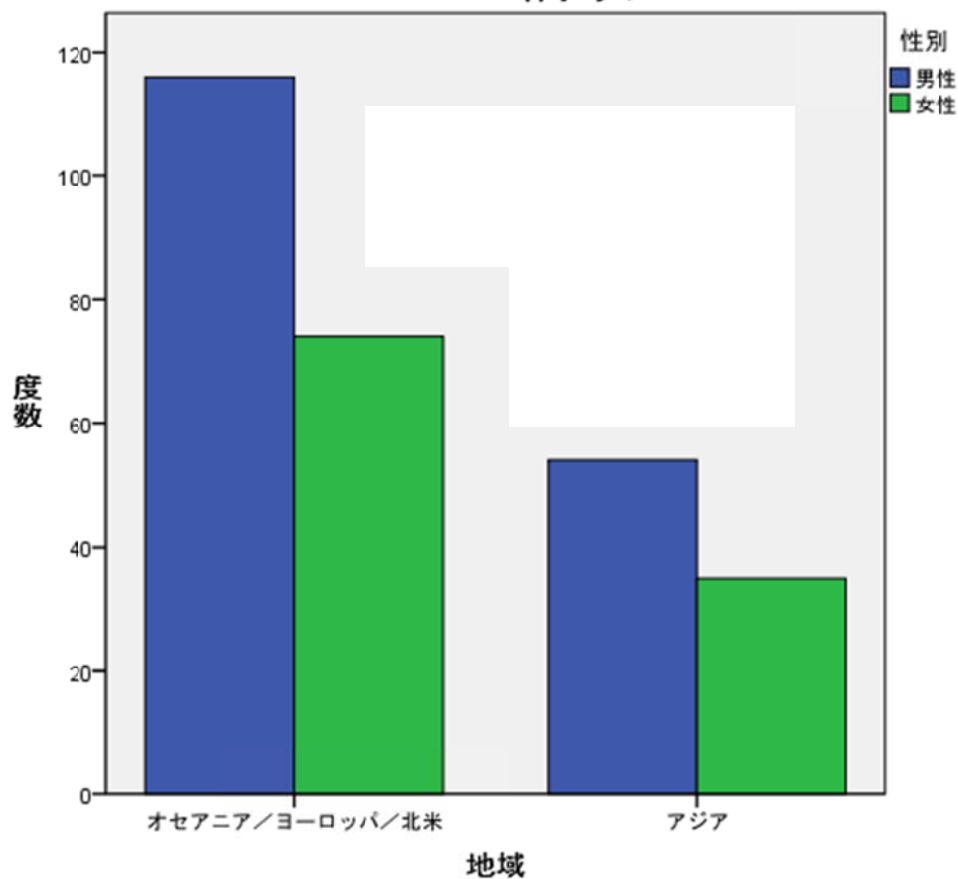
1.1. サンプルの性別

サンプルの性別は、オセアニア／ヨーロッパ／北米諸国からの旅行者、アジア諸国からの旅行者ともに、男性が6割程度、女性が4割程度であった。

地域と性別のクロス表

		性別		合計
		男性	女性	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／ 北米	度数 116	74	190
	地域の%	61.1%	38.9%	100.0%
アジア	度数	54	35	89
	地域の%	60.7%	39.3%	100.0%
合計	度数	170	109	279
	地域の%	60.9%	39.1%	100.0%

棒グラフ



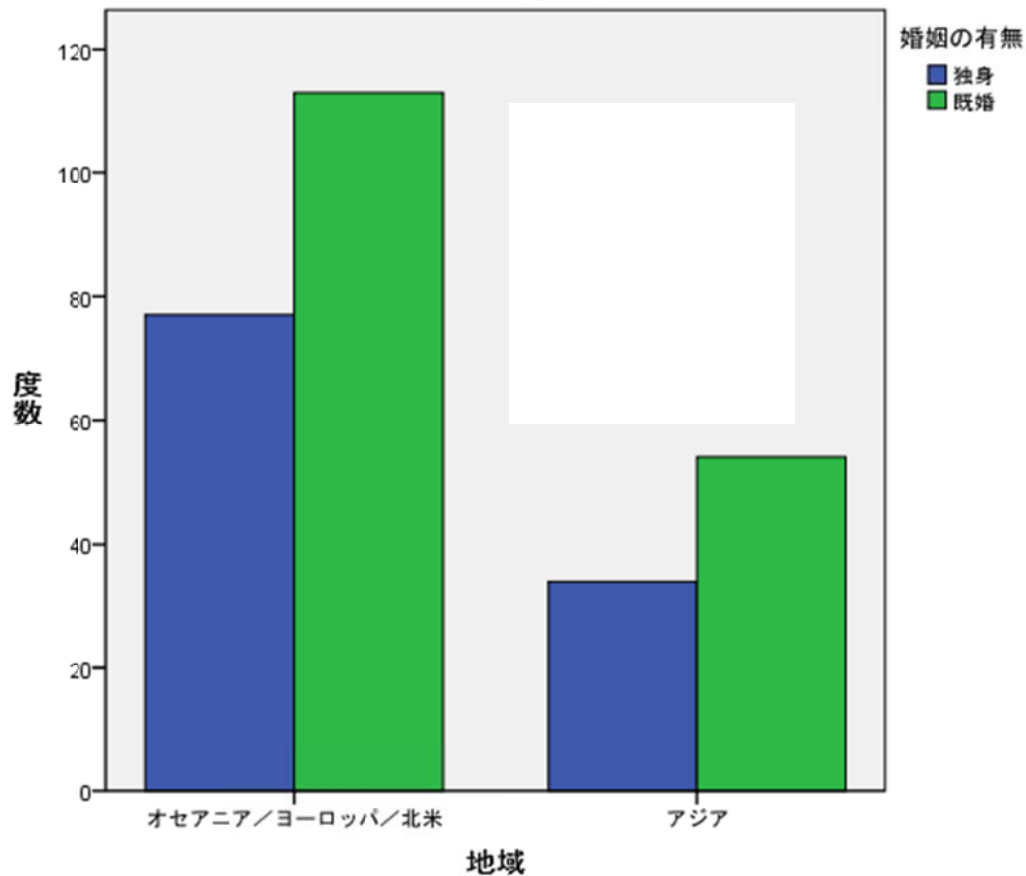
1.2. サンプルの婚姻の有無

サンプルの婚姻状況の有無については、オセアニア／ヨーロッパ／北米諸国からの旅行者、アジア諸国からの旅行者ともに、独身が4割程度、既婚が6割程度であった。

地域 と 婚姻の有無 のクロス表

		婚姻の有無		合計
		独身	既婚	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／ 北米	77 地域 の % 40.5%	113 59.5%	190 100.0%
	アジア	34 地域 の % 38.6%	54 61.4%	88 100.0%
合計	度数	111	167	278
	地域 の %	39.9%	60.1%	100.0%

棒グラフ



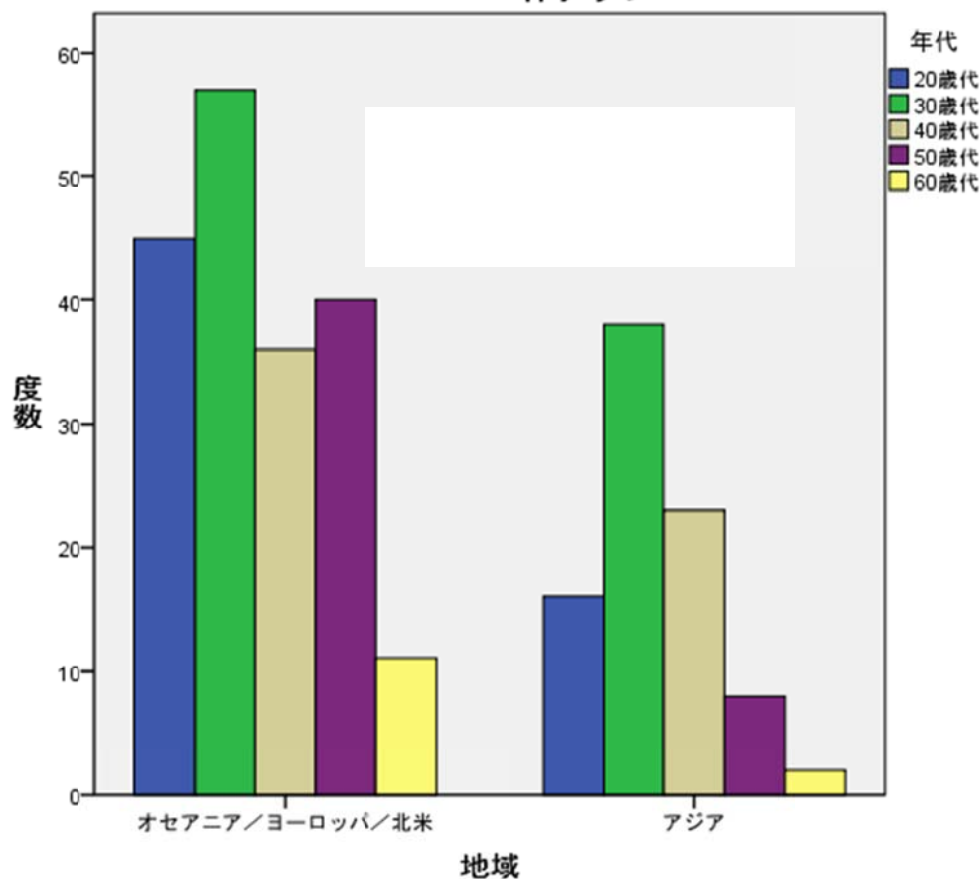
1.3.サンプルの年齢

サンプルの年齢は、30歳代がもっとも多くなっており、続いて20歳代、40歳代、50歳代の順となっている。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者は、30歳代が3割程度でもっとも多く、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代2割程度となっている。アジアからの旅行者は、30歳代が4割を超えてもっとも多く、40歳代、20歳代と続いている。

地域 と 年代 のクロス表

		年代					合計
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	45	57	36	40	11	189
	／北米	23.8%	30.2%	19.0%	21.2%	5.8%	100.0%
地域	アジア	16	38	23	8	2	87
		18.4%	43.7%	26.4%	9.2%	2.3%	100.0%
合計	度数	61	95	59	48	13	276
	地域の%	22.1%	34.4%	21.4%	17.4%	4.7%	100.0%

棒グラフ



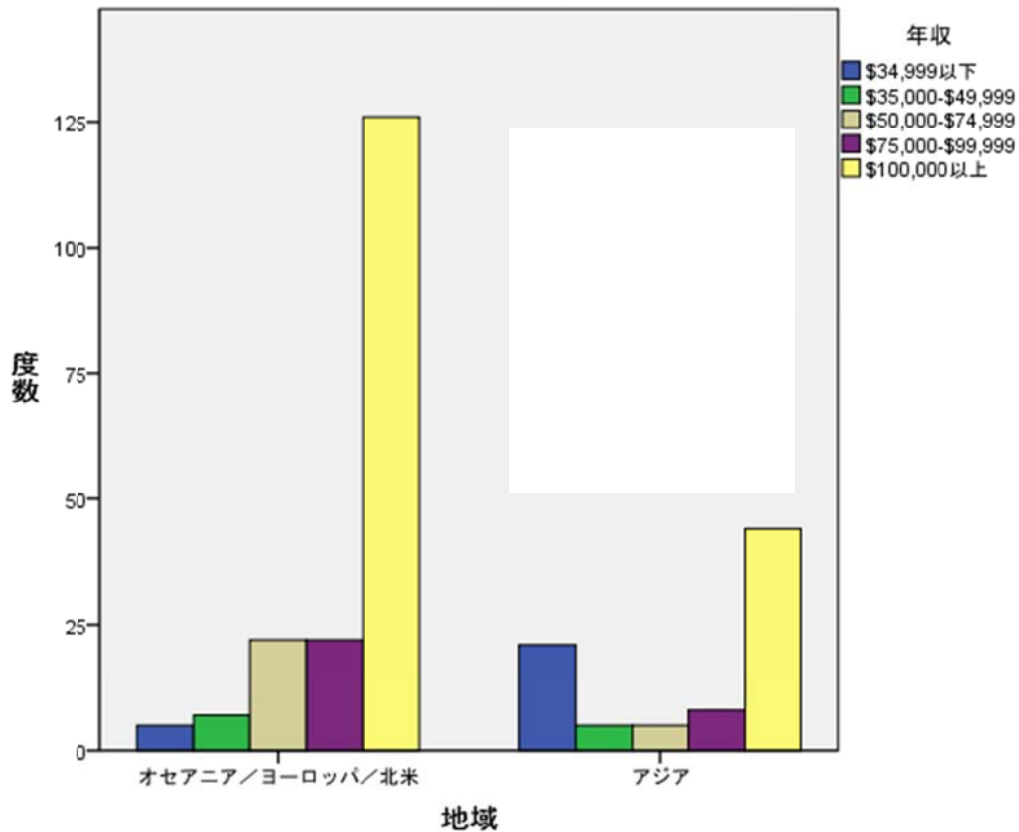
1.4. サンプルの年収

サンプルの年収は、\$100,000以上の裕福な人の割合が高く、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者では7割近く、アジアからの旅行者では5割以上となっている。その反面、アジアからの旅行者の25%以上が\$34,999以下となっている。

地域 と 年収 のクロス表

	年収					合計
	\$34,999 以下	\$35,000 ～\$49,999	\$50,000 ～\$74,999	\$75,000 ～\$99,999	\$100,000 以上	
地域 オセアニア／ヨーロッパ／北米	5	7	22	22	126	182
度数	2.7%	3.8%	12.1%	12.1%	69.2%	100.0%
地域のアジア	21	5	5	8	44	83
度数	25.3%	6.0%	6.0%	9.6%	53.0%	100.0%
合計	26	12	27	30	170	265
度数	9.8%	4.5%	10.2%	11.3%	64.2%	100.0%

棒グラフ



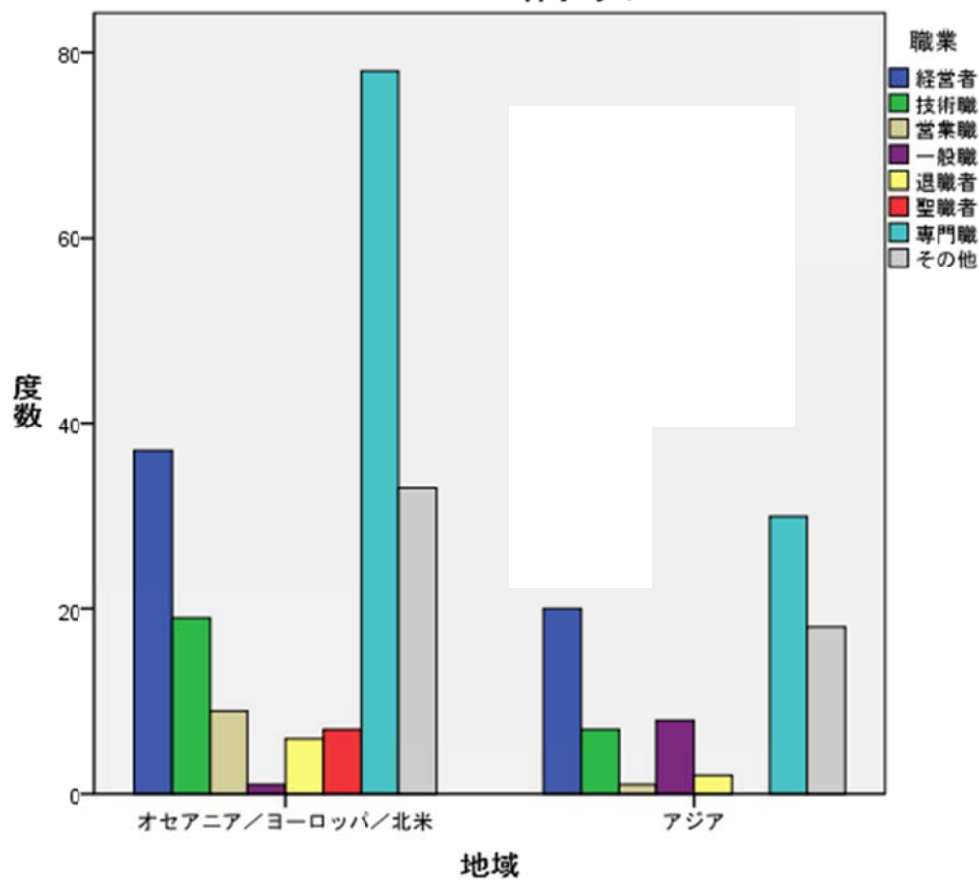
1.5. サンプルの職業

サンプルの職業については、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者、アジアからの旅行者ともに、専門職、経営者の割合が高くなっている。

地域と職業のクロス表

	職業								合計
	経営者	技術職	営業職	一般職	退職者	聖職者	専門職	その他	
地域 オセアニア／ヨーロッパ／北米	37	19	9	1	6	7	78	33	190
の %	19.5%	10.0%	4.7%	.5%	3.2%	3.7%	41.1%	17.4%	100.0%
地域 アジア	20	7	1	8	2	0	30	18	86
の %	23.3%	8.1%	1.2%	9.3%	2.3%	.0%	34.9%	20.9%	100.0%
合計	57	26	10	9	8	7	108	51	276
の %	20.7%	9.4%	3.6%	3.3%	2.9%	2.5%	39.1%	18.5%	100.0%

棒グラフ

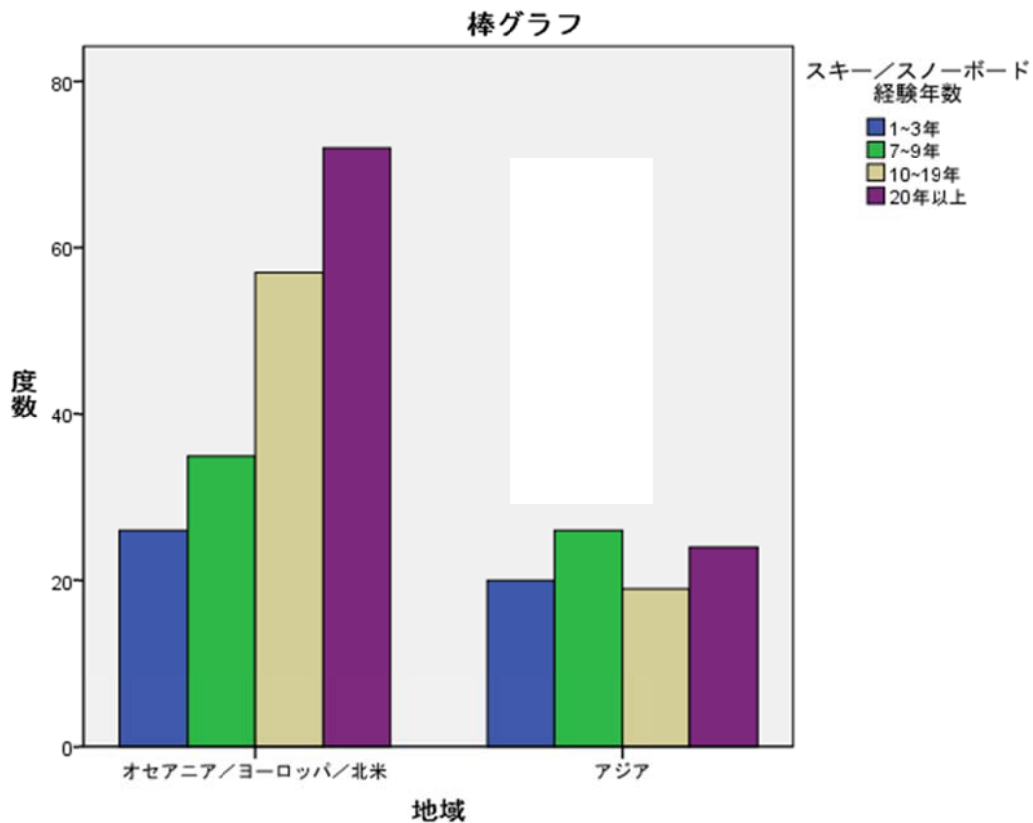


2.1. スキー／スノーボードの経験年数

スキー／スノーボードの経験年数は、20年以上の者が34.3%でもっとも多く、1～3年の経験が浅い者は16.5%と少ない。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者は、4割近くの者が20年以上の経験をもち、10～19年の者も3割になっている。アジアからの旅行者は、7～9年の経験をもつ者が3割近くでもっとも多いが、1～3年の者が22.5%と高い割合となっている。

地域 と スキー／スノーボード経験年数 のクロス表

		スキー／スノーボード経験年数				合計
		1-3年	7-9年	10-19年	20年以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	26	35	57	72	190
	度数 地域の%	13.7%	18.4%	30.0%	37.9%	100.0%
地域	アジア	20	26	19	24	89
	度数 地域の%	22.5%	29.2%	21.3%	27.0%	100.0%
合計	度数	46	61	76	96	279
	地域の%	16.5%	21.9%	27.2%	34.4%	100.0%



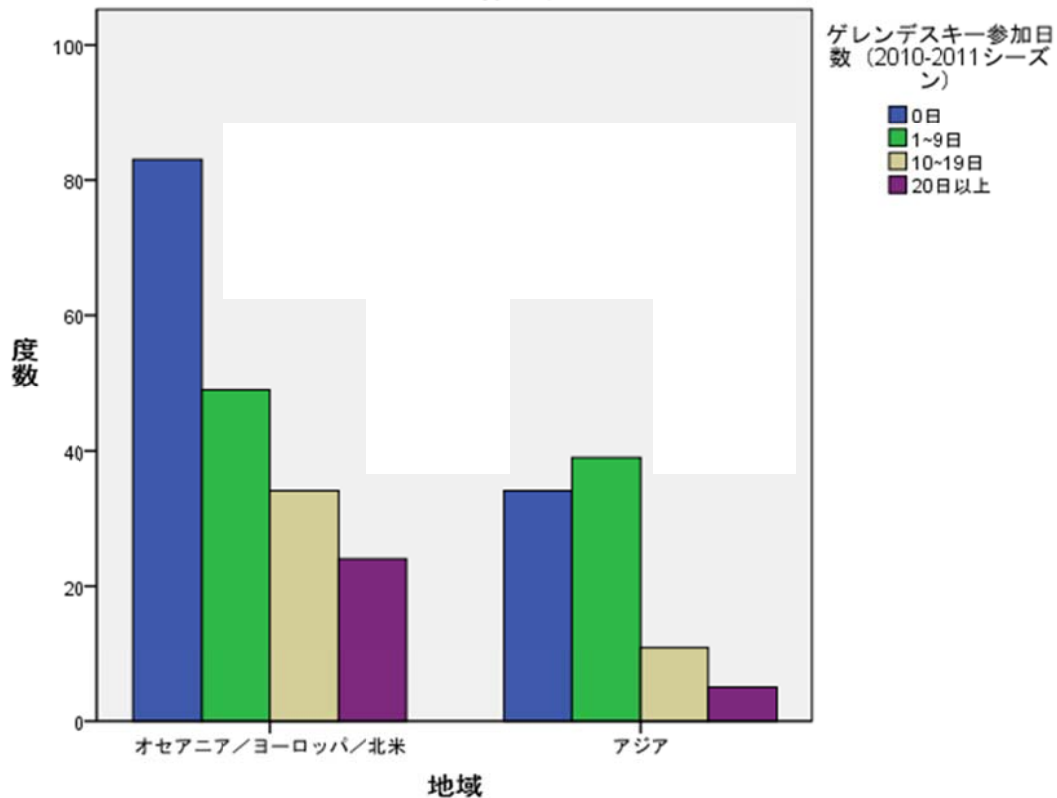
2.2.ゲレンデスキーの参加日数

2010-2011年シーズンにおけるゲレンデスキーの参加日数は、1～9日の者が31.5%となっており、アジアからの旅行者の4割以上が1～9日という少ない日数となっている。10～19日の参加日数の者は16.1%であり、20日以上という多い日数の者は1割程度である。ゲレンデスキーをしていない者（0日）の割合は4割程度であった。

地域とゲレンデスキー参加日数（2010-2011年シーズン）のクロス表

		ゲレンデスキー参加日数 (2010-2011年シーズン)				合計
		0日	1-9日	10-19日	20日以上	
地域	オセアニア/ヨーロッパ/北米	度数 83	49	34	24	190
	地域の%	43.7%	25.8%	17.9%	12.6%	100.0%
地域	アジア	度数 34	39	11	5	89
	地域の%	38.2%	43.8%	12.4%	5.6%	100.0%
合計	度数	117	88	45	29	279
	地域の%	41.9%	31.5%	16.1%	10.4%	100.0%

棒グラフ



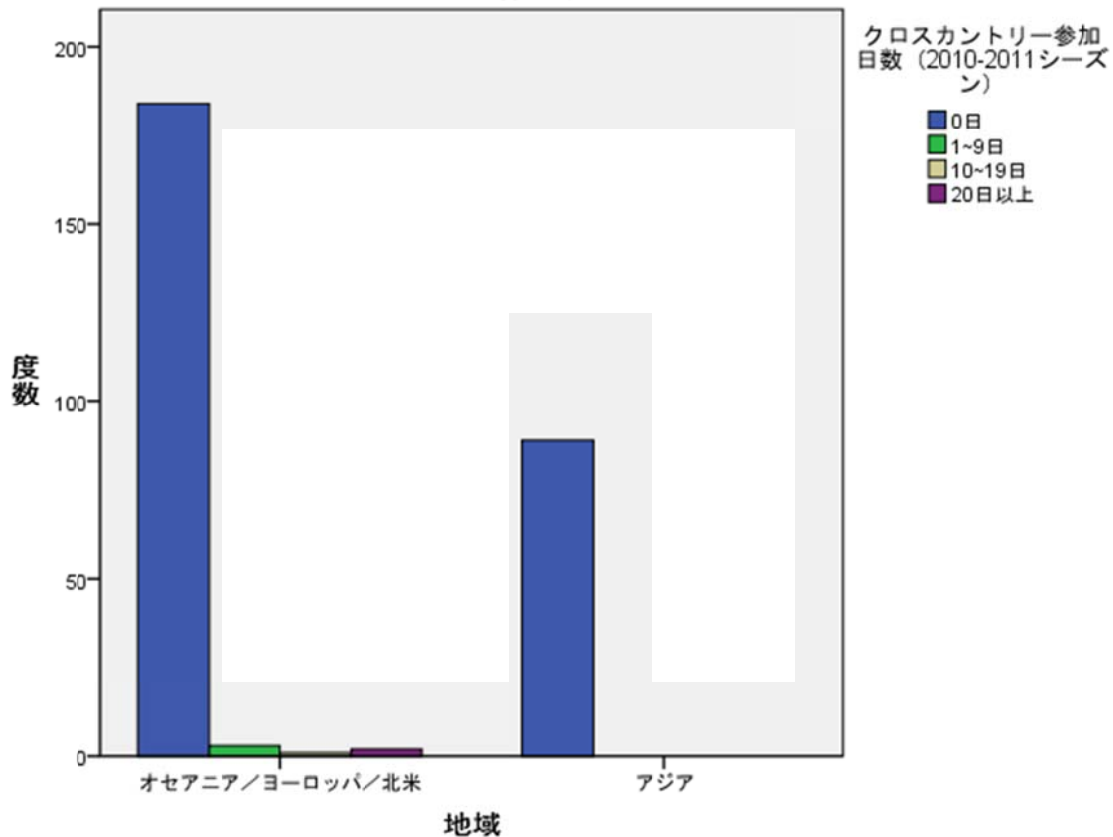
2.3.クロスカントリースキーの参加日数

2010-2011 年シーズンにおけるクロスカントリースキーの参加については、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者に若干の参加者がみられる程度で、ほとんどの人が参加していない状況である。

地域 と クロスカントリー参加日数 (2010-2011 年シーズン) のクロス表

		クロスカントリースキー参加日数 (2010-2011 年シーズン)				合計
		0 日	1-9 日	10-19 日	20 日以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	184	3	1	2	190
	度数 地域の %	96.8%	1.6%	.5%	1.1%	100.0%
地域	アジア	89	0	0	0	89
	度数 地域の %	100.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
合計		273	3	1	2	279
度数 地域の %		97.8%	1.1%	.4%	.7%	100.0%

棒グラフ



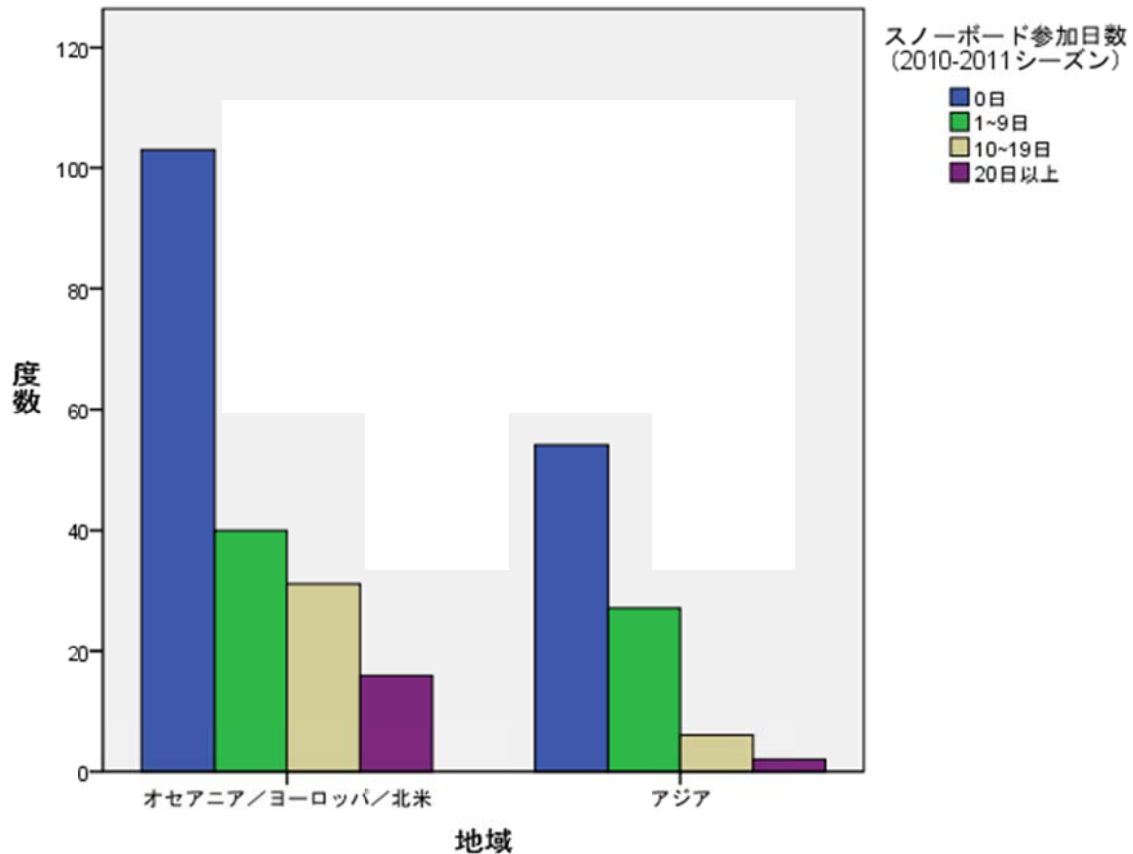
2.4.スノーボードの参加日数

2010-2011年シーズンにおけるスノーボードの参加日数は、1～9日の者が24.0%でもっとも多くなっている。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりも参加日数が多い傾向がみられた。スノーボードをしていない者(0日)の割合は56.3%であった。

地域とスノーボード参加日数(2010-2011年シーズン)のクロス表

		スノーボード参加日数 (2010-2011年シーズン)				合計
		0日	1-9日	10-19日	20日以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	103	40	31	16	190
	度数 地域の%	54.2%	21.1%	16.3%	8.4%	100.0%
地域	アジア	54	27	6	2	89
	度数 地域の%	60.7%	30.3%	6.7%	2.2%	100.0%
合計	度数	157	67	37	18	279
	地域の%	56.3%	24.0%	13.3%	6.5%	100.0%

棒グラフ



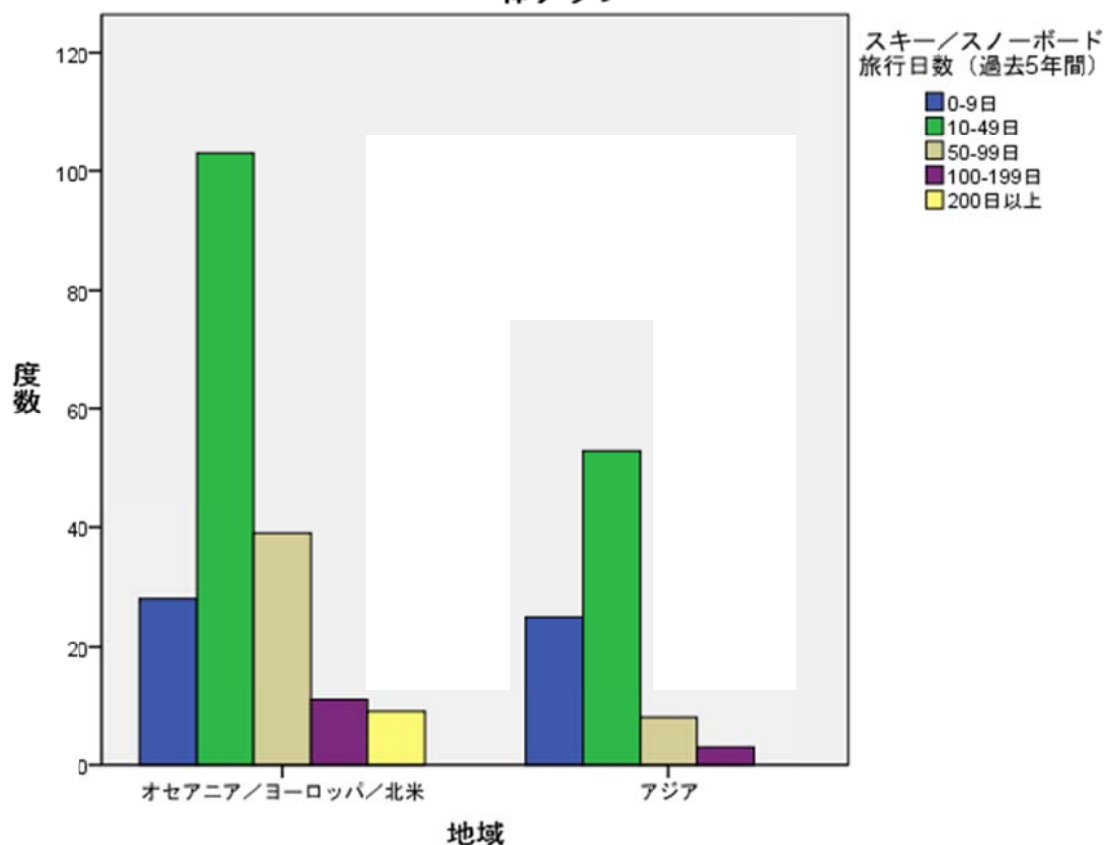
2.5.スキー／スノーボードの旅行日数

過去5年間のスキー／スノーボード旅行日数については、10～49日の者が55.9%でもっとも多くなっている。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者では、50～99日という長期間の者が2割以上となっている。アジアからの旅行者では、1～9日という短期間の者が3割弱であった。

地域とスキー／スノーボード旅行日数（過去5年間）のクロス表

			スキー／スノーボード旅行日数（過去5年間）					合計
			0-9日	10-49日	50-99日	100-199日	200日以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	度数	28	103	39	11	9	190
		地域の%	14.7%	54.2%	20.5%	5.8%	4.7%	100.0%
地域	アジア	度数	25	53	8	3	0	89
		地域の%	28.1%	59.6%	9.0%	3.4%	.0%	100.0%
合計		度数	53	156	47	14	9	279
		地域の%	19.0%	55.9%	16.8%	5.0%	3.2%	100.0%

棒グラフ



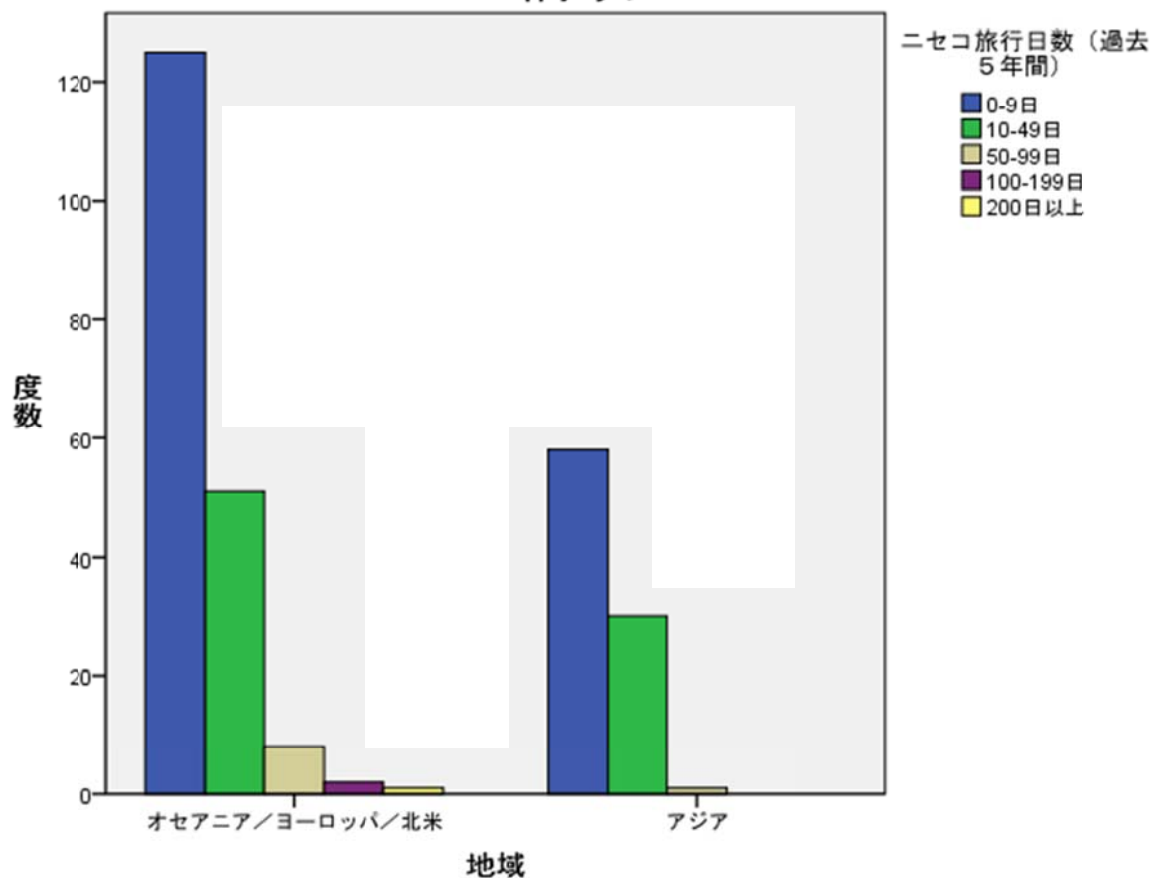
2.6.ニセコリゾートへの旅行日数

過去5年間のニセコリゾートへの旅行日数については、0～9日の者が6割以上であるが、10～49日という長期間の者が3割弱みられる。

地域とニセコ旅行日数（過去5年間）のクロス表

		ニセコ旅行日数（過去5年間）					合計
		0-9日	10-49日	50-99日	100-199日	200日以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	125	51	8	2	1	187
	パ／北米	66.8%	27.3%	4.3%	1.1%	.5%	100.0%
の%	アジア	58	30	1	0	0	89
	地域	65.2%	33.7%	1.1%	.0%	.0%	100.0%
合計	度数	183	81	9	2	1	276
	地域	66.3%	29.3%	3.3%	.7%	.4%	100.0%
		の%					

棒グラフ



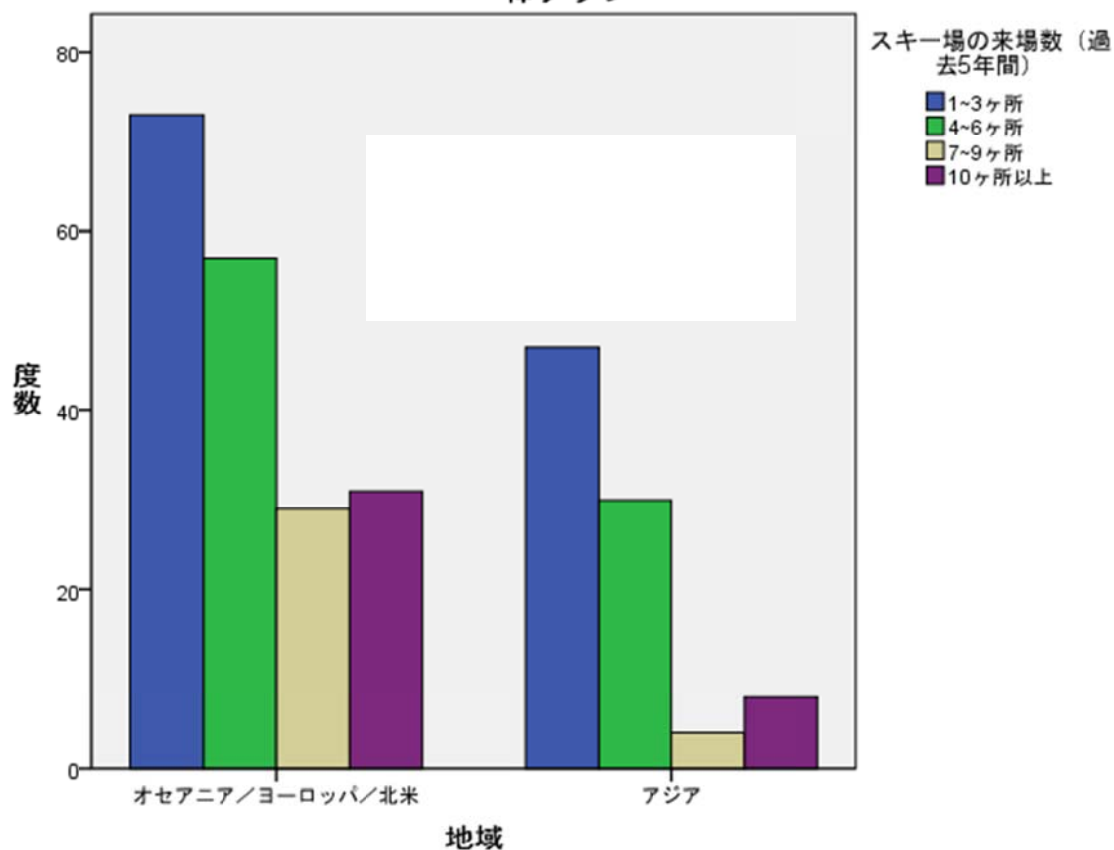
2.7.スキー場の来場数

過去5年間のスキー場への来場数については、1~3ヶ所の者が4割以上、4~6ヶ所の者が3割以上であった。アジアからの旅行者よりも、オセアニア/ヨーロッパ/北米からの旅行者の方が、スキー場の来場数が多い傾向がみられた。

地域 と スキー場の来場数（過去5年間） のクロス表

		スキー場の来場数（過去5年間）				合計
		1-3ヶ所	4-6ヶ所	7-9ヶ所	10ヶ所以上	
地域	オセアニア/ヨーロッパ/北米	73	57	29	31	190
	度数 地域の%	38.4%	30.0%	15.3%	16.3%	100.0%
アジア	度数	47	30	4	8	89
	地域の%	52.8%	33.7%	4.5%	9.0%	100.0%
合計	度数	120	87	33	39	279
	地域の%	43.0%	31.2%	11.8%	14.0%	100.0%

棒グラフ



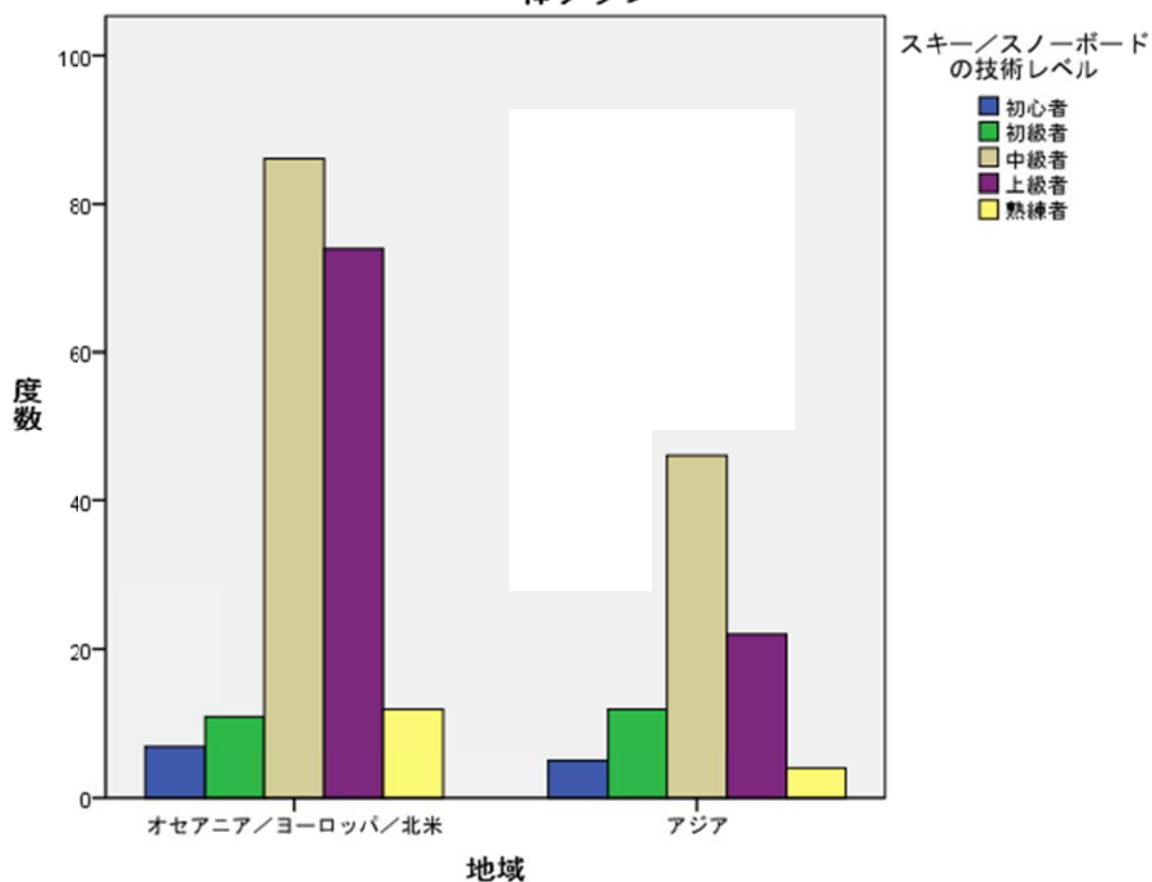
3.1.スキー／スノーボードの技術レベル

スキー／スノーボードの技術レベルについては、約半数の者が中級者と回答しており、続いて 34.4%の者が上級者と回答している。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりも技術レベルがやや高い傾向がみられた。

地域 と スキー／スノーボードの技術レベル のクロス表

		スキー／スノーボードの技術レベル					合計
		初心者	初級者	中級者	上級者	熟練者	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	7	11	86	74	12	190
	／北米	3.7%	5.8%	45.3%	38.9%	6.3%	100.0%
地域	アジア	5	12	46	22	4	89
		5.6%	13.5%	51.7%	24.7%	4.5%	100.0%
合計	度数	12	23	132	96	16	279
	地域の%	4.3%	8.2%	47.3%	34.4%	5.7%	100.0%

棒グラフ



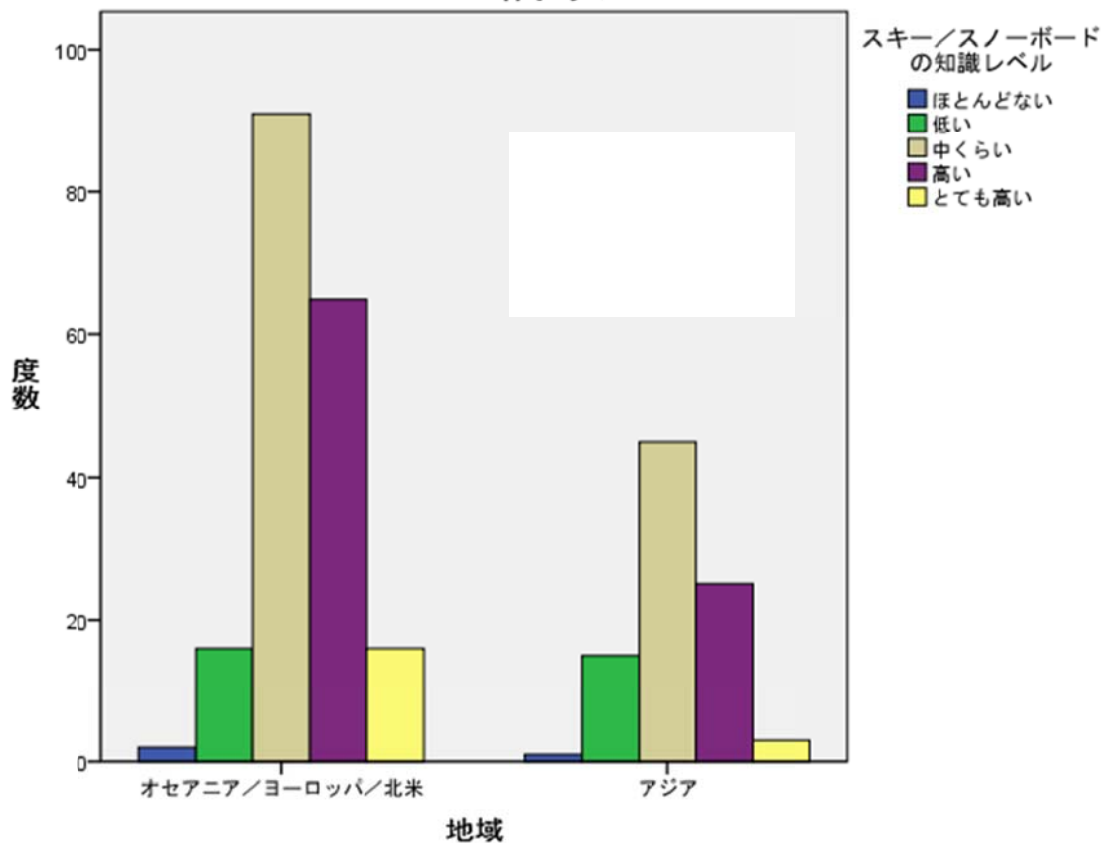
3.2.スキー／スノーボードの知識レベル

スキー／スノーボードの知識レベルについては、約半数の者が中くらいと回答しており、続いて 32.3%の者が高いと回答している。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりも知識レベルがやや高い傾向がみられた。

地域 と スキー／スノーボードの知識レベル のクロス表

		スキー／スノーボードの知識レベル					合計
		ほとんど ない	低い	中 くらい	高い	とても 高い	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	度数 2	16	91	65	16	190
	地域の %	1.1%	8.4%	47.9%	34.2%	8.4%	100.0%
地域	アジア	度数 1	15	45	25	3	89
	地域の %	1.1%	16.9%	50.6%	28.1%	3.4%	100.0%
合計	度数	3	31	136	90	19	279
	地域の %	1.1%	11.1%	48.7%	32.3%	6.8%	100.0%

棒グラフ



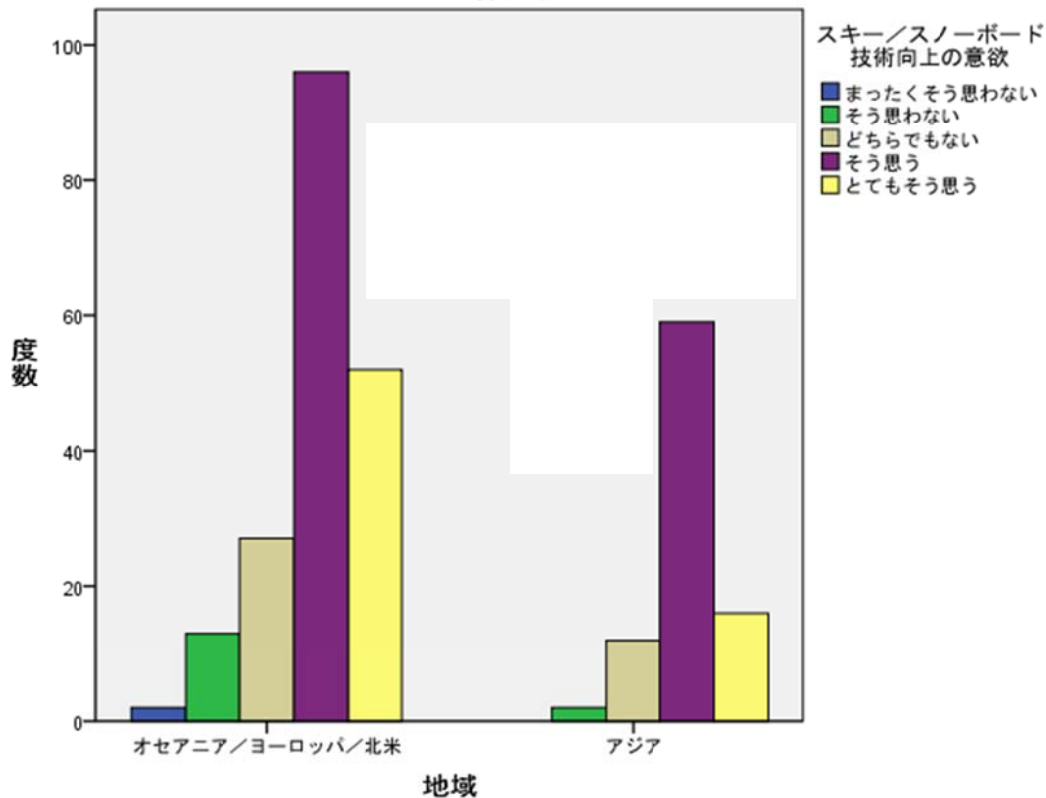
3.3. スキー／スノーボード技術向上の意欲

スキー／スノーボード技術向上の意欲については、意欲があると回答した者が半数以上であり、とても意欲があるという者も 24.4%であった。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者では、とても意欲がある者が 3 割弱であり、アジアからの旅行者では、意欲がある者が 66.3%となっている。

地域 と スキー／スノーボード技術向上の意欲 のクロス表

		スキー／スノーボード技術向上の意欲					合計
		まったく そう 思わない	そう 思わない	どちら でも ない	そう 思う	とても そう 思う	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	度数 2	13	27	96	52	190
	地域の %	1.1%	6.8%	14.2%	50.5%	27.4%	100.0%
地域	アジア	度数 0	2	12	59	16	89
	地域の %	.0%	2.2%	13.5%	66.3%	18.0%	100.0%
合計	度数	2	15	39	155	68	279
	地域の %	.7%	5.4%	14.0%	55.6%	24.4%	100.0%

棒グラフ



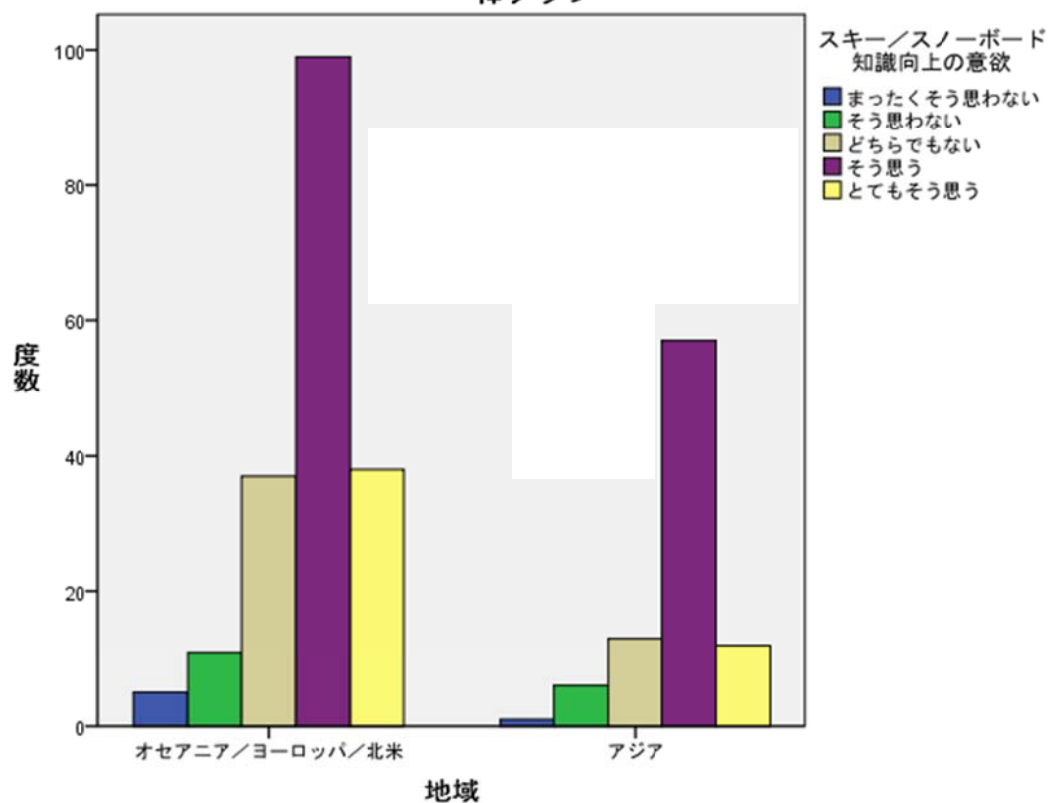
3.4. スキー／スノーボード知識向上の意欲

スキー／スノーボード技術向上の意欲については、意欲があると回答した者が半数以上であり、とても意欲があるという者も 17.9%であった。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者では、とても意欲がある者が 2 割であり、アジアからの旅行者では、意欲がある者が 6 割以上でやや高くなっている。

地域 と スキー／スノーボード知識向上の意欲 のクロス表

		スキー／スノーボード知識向上の意欲					合計
		まったく そう 思わない	そう 思わない	どちら でも ない	そう 思う	とても そう 思う	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	5	11	37	99	38	190
	度数 の %	2.6%	5.8%	19.5%	52.1%	20.0%	100.0%
地域	アジア	1	6	13	57	12	89
	度数 の %	1.1%	6.7%	14.6%	64.0%	13.5%	100.0%
合計	度数	6	17	50	156	50	279
	度数 の %	2.2%	6.1%	17.9%	55.9%	17.9%	100.0%

棒グラフ



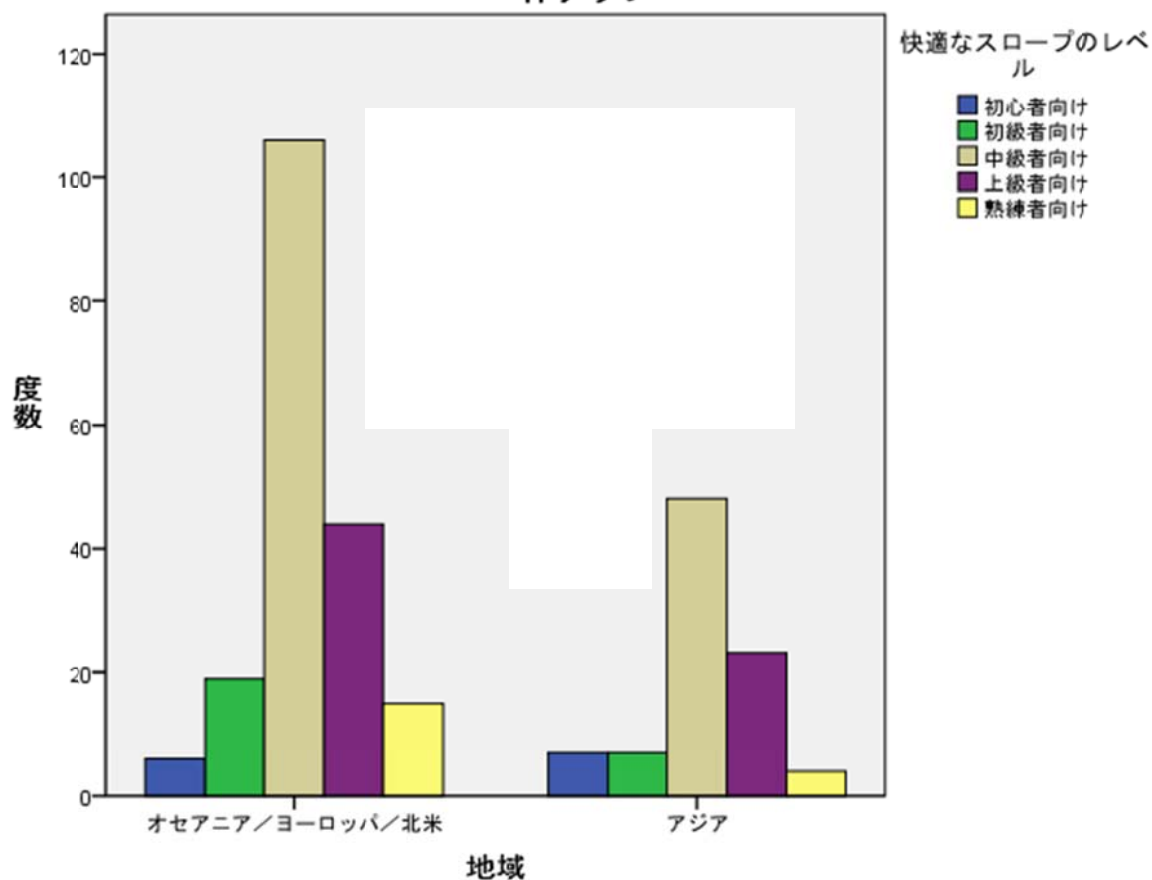
3.5.快適なスロープのレベル

スキー／スノーボードをする際の快適なスロープについては、半数以上の者が中級者向けと回答しており、続いて上級者向けと回答した者が 24.0%となっている。いずれのレベルにおいても、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者とアジアからの旅行者はほぼ同じ割合であった。

地域 と 快適なスロープのレベル のクロス表

		快適なスロープのレベル					合計
		初心者向け	初級者向け	中級者向け	上級者向け	熟練者向け	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	6	19	106	44	15	190
	／北米	3.2%	10.0%	55.8%	23.2%	7.9%	100.0%
地域	アジア	7	7	48	23	4	89
		7.9%	7.9%	53.9%	25.8%	4.5%	100.0%
合計	度数	13	26	154	67	19	279
	地域の%	4.7%	9.3%	55.2%	24.0%	6.8%	100.0%

棒グラフ



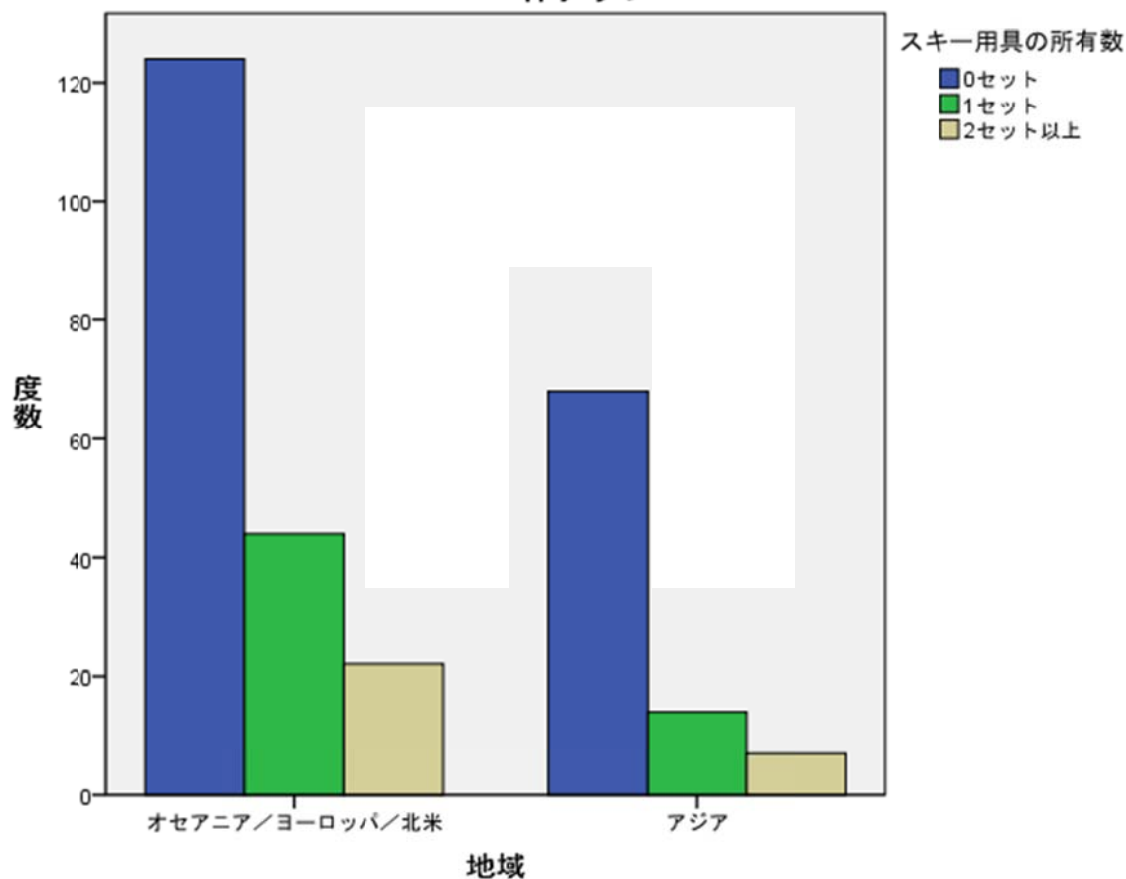
4.1.スキー用具の所有数

スキー用具の所有数は、1セットを所有する者が約2割で、2セット以上を所有する者が約1割であった。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりもやや所有する割合が高かった。スキー用具を所有していない者の割合は、7割弱であった。

地域 と スキー用具の所有数 のクロス表

		スキー用具の所有数			合計
		0セット	1セット	2セット以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ／北米	124	44	22	190
	地域の%	65.3%	23.2%	11.6%	100.0%
アジア	度数	68	14	7	89
	地域の%	76.4%	15.7%	7.9%	100.0%
合計	度数	192	58	29	279
	地域の%	68.8%	20.8%	10.4%	100.0%

棒グラフ



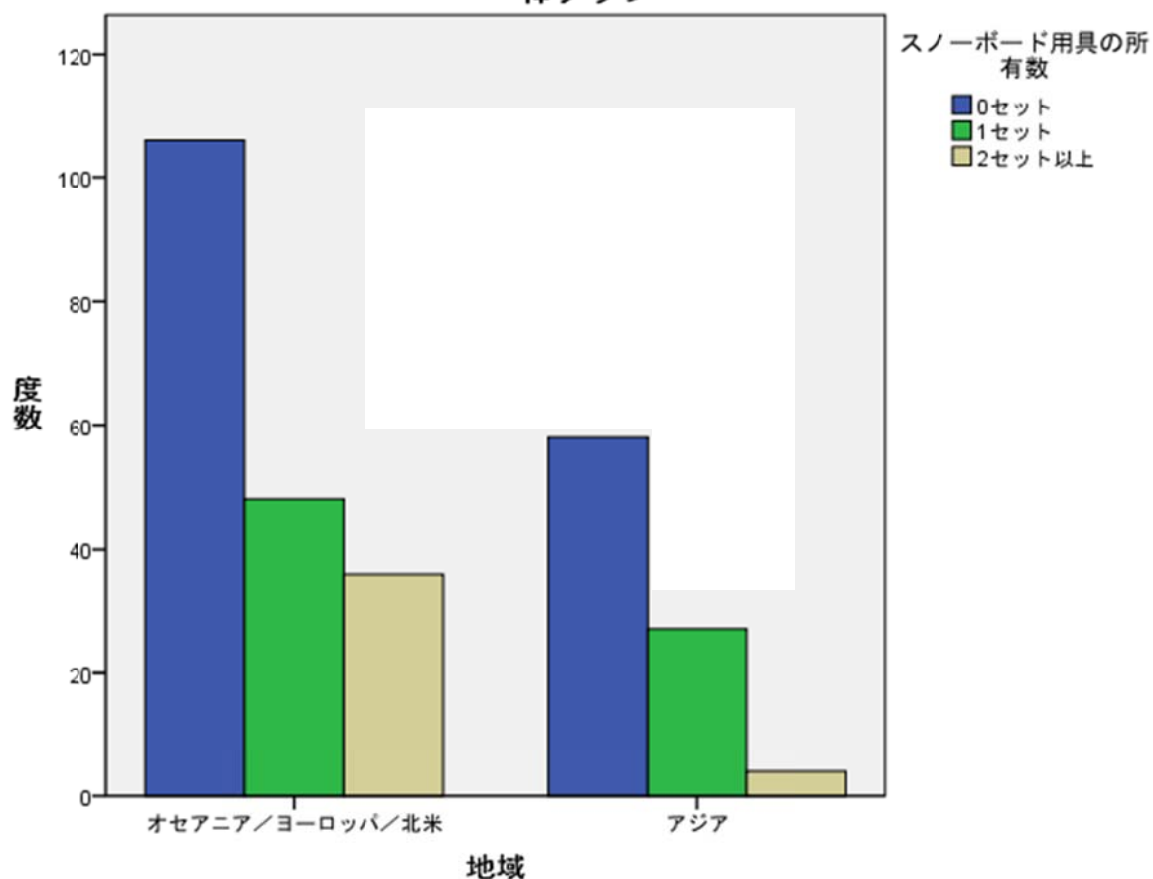
4.2.スノーボード用具の所有数

スノーボード用具の所有数は、1セットを所有する者が26.9%で、2セット以上を所有する者が14.3%であった。スノーボード用具を所有していない者の割合は、6割弱であった。

地域とスノーボード用具の所有数のクロス表

		スノーボード用具の所有数			合計
		0セット	1セット	2セット以上	
地域	オセアニア/ヨーロッパ/北米	106	48	36	190
	度数 地域の%	55.8%	25.3%	18.9%	100.0%
アジア	度数	58	27	4	89
	地域の%	65.2%	30.3%	4.5%	100.0%
合計	度数	164	75	40	279
	地域の%	58.8%	26.9%	14.3%	100.0%

棒グラフ



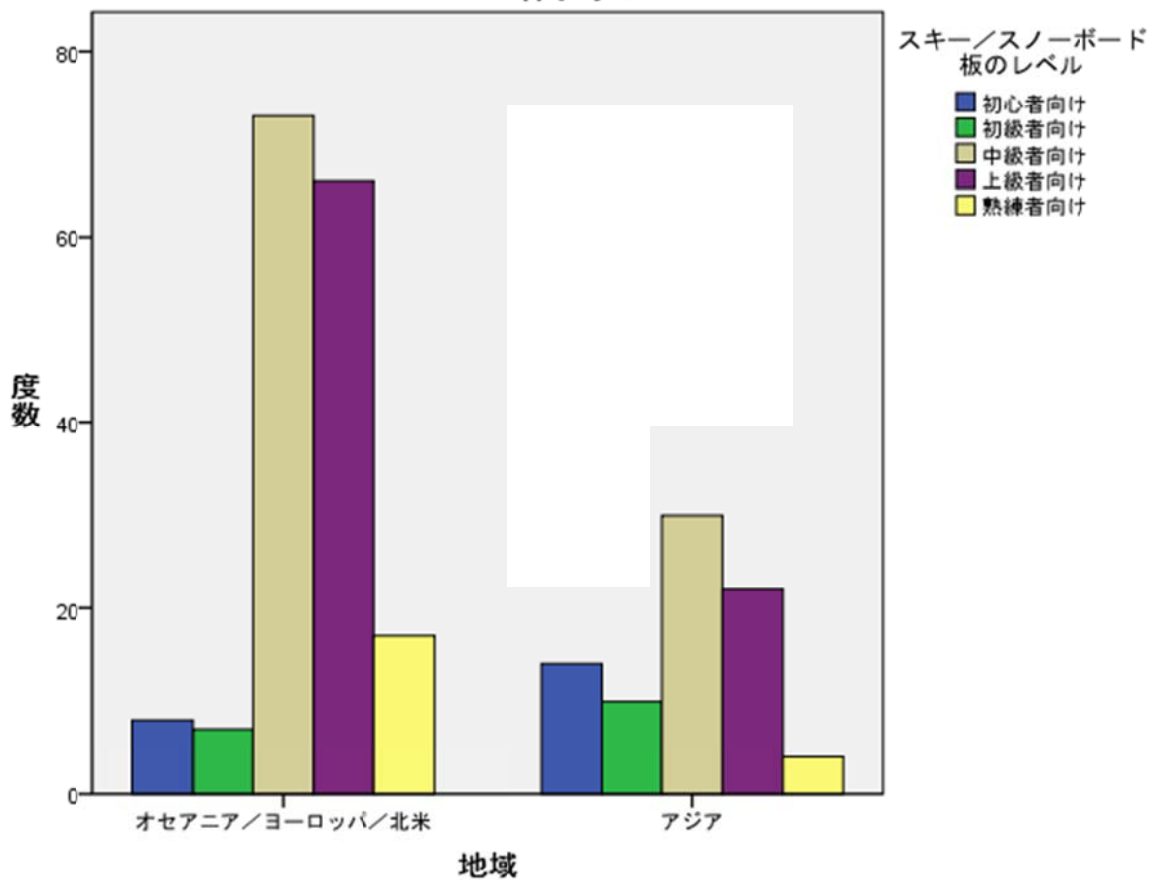
4.3.スキー／スノーボード板のレベル

使用するスキー／スノーボード板のレベルは、41.0%の者が中級者向けで、35.1%の者が上級者向けであった。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりも、使用するスキー／スノーボード板のレベルが高い傾向がみられた。

地域 と スキー／スノーボード板のレベル のクロス表

		スキー／スノーボード板のレベル					合計
		初心者向け	初級者向け	中級者向け	上級者向け	熟練者向け	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	8	7	73	66	17	171
	／北米	4.7%	4.1%	42.7%	38.6%	9.9%	
地域	アジア	14	10	30	22	4	80
		17.5%	12.5%	37.5%	27.5%	5.0%	
合計	度数	22	17	103	88	21	251
	地域 の %	8.8%	6.8%	41.0%	35.1%	8.4%	

棒グラフ



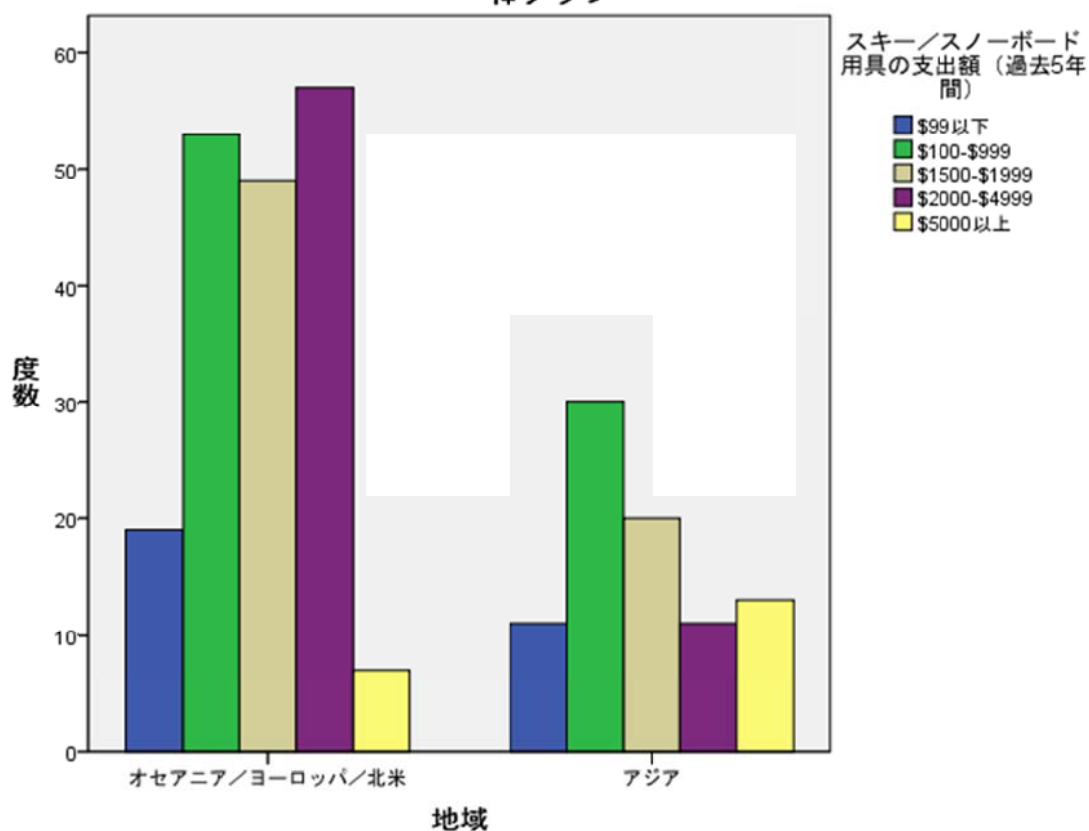
4.4.スキー／スノーボード用具の支出額

過去5年間のスキー／スノーボード用具への支出額については、\$100～\$999の者が30.7%でもっとも多く、続いて\$1500～\$1999の者が25.6%、\$2000～\$4999の者が25.2%となっている。オセアニア／ヨーロッパ／北米の旅行者では、\$2000～\$4999の者が3割以上でもっとも多くなっている。アジアからの旅行者では、\$100～\$999の者が35.3%でもっとも多かった。

地域とスキー／スノーボード用具の支出額（過去5年間）のクロス表

		スキー／スノーボード用具の支出額（過去5年間）					合計
		\$99以下	\$100-\$999	\$1500-\$1999	\$2000-\$4999	\$5000以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ ／北米	19	53	49	57	7	185
	の 地 域 の %	10.3%	28.6%	26.5%	30.8%	3.8%	100.0%
アジア	度数	11	30	20	11	13	85
	の 地 域 の %	12.9%	35.3%	23.5%	12.9%	15.3%	100.0%
合計	度数	30	83	69	68	20	270
	の 地 域 の %	11.1%	30.7%	25.6%	25.2%	7.4%	100.0%

棒グラフ



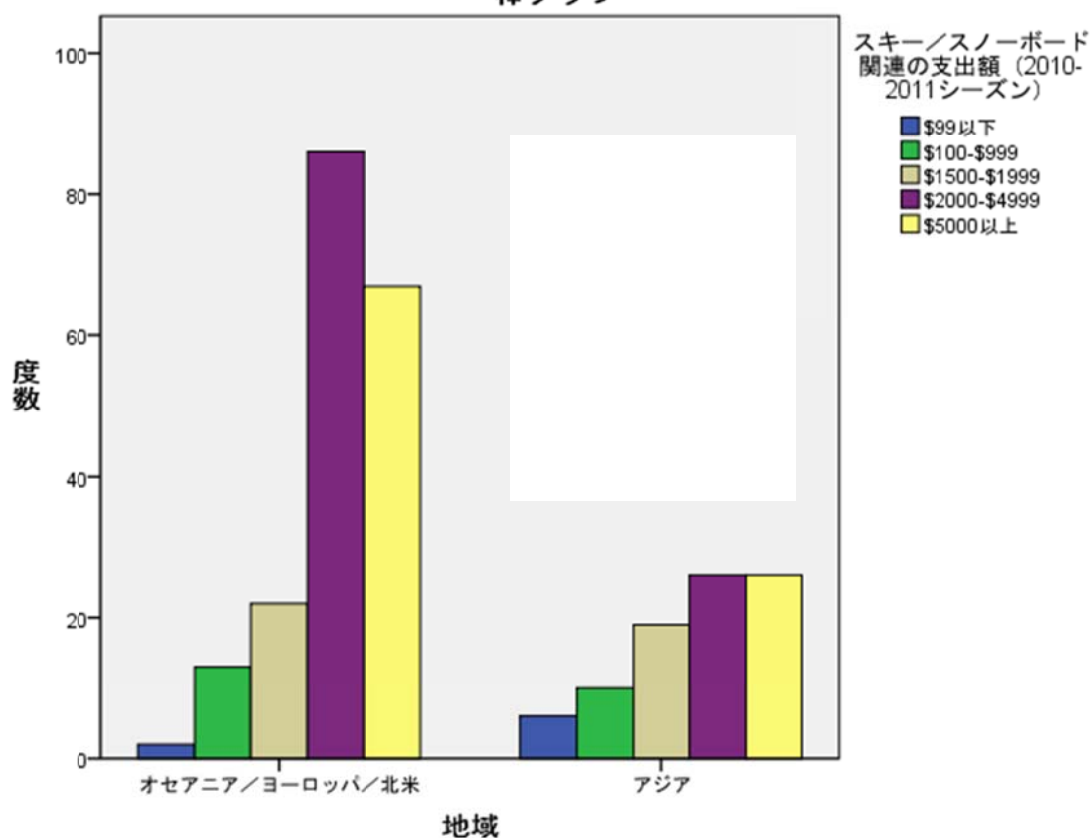
4.5. スキー／スノーボード関連の支出額

2010-2011 年シーズンにおけるスキー／スノーボード関連の用具、交通費、宿泊費の支出額については、\$2000~\$4999 の者が 4 割以上でもっとも多く、\$5000 以上の者が 3 割以上であった。オセアニア／ヨーロッパ／北米の旅行者では、\$2000~\$4999 の者が半数近くであった。アジアからの旅行者では、\$2000~\$4999 の者と \$5000 以上の者が 3 割程度となっている。

地域 と スキー／スノーボード関連の支出額 (2010-2011 年シーズン) のクロス表

		スキー／スノーボード関連の支出額 (2010-2011 年シーズン)					合計
		\$99 以下	\$100-\$999	\$1500-\$1999	\$2000-\$4999	\$5000 以上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ ／北米	度数 2	13	22	86	67	190
	地域 の %	1.1%	6.8%	11.6%	45.3%	35.3%	100.0%
アジア	度数	6	10	19	26	26	87
	地域 の %	6.9%	11.5%	21.8%	29.9%	29.9%	100.0%
合計	度数	8	23	41	112	93	277
	地域 の %	2.9%	8.3%	14.8%	40.4%	33.6%	100.0%

棒グラフ



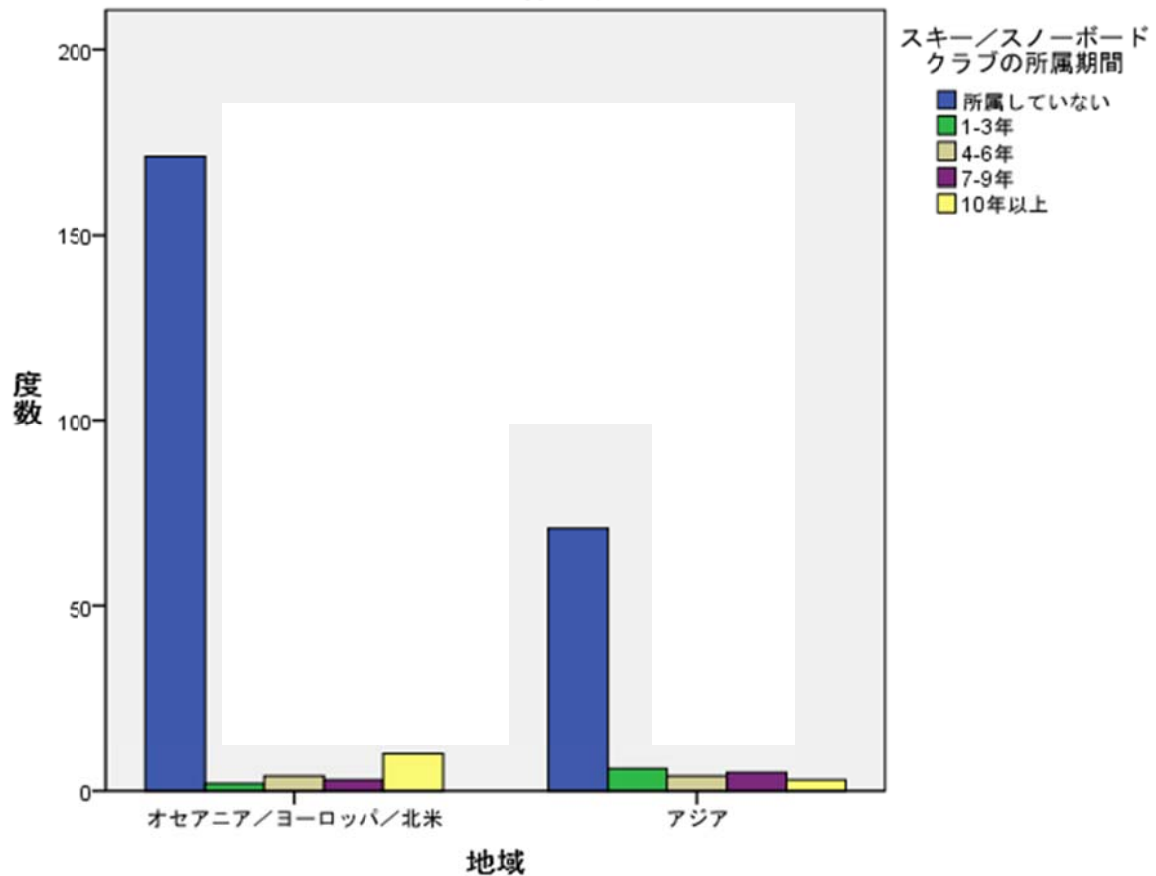
5.1. スキー／スノーボードクラブの所属期間

スキー／スノーボードクラブに所属している者の割合は、オセアニア／ヨーロッパ／北米の旅行者が1割で、アジアからの旅行者は2割程度で、クラブに所属している者は少なかった。

地域 と スキー／スノーボードクラブの所属期間 のクロス表

	スキー／スノーボードクラブの所属期間					合計
	所属していない	1-3年	4-6年	7-9年	10年以上	
地域 オセアニア／ヨーロッパ／北米	171	2	4	3	10	190
度数	90.0%	1.1%	2.1%	1.6%	5.3%	100.0%
地域						
の%						
アジア	71	6	4	5	3	89
度数	79.8%	6.7%	4.5%	5.6%	3.4%	100.0%
地域						
の%						
合計	242	8	8	8	13	279
度数	86.7%	2.9%	2.9%	2.9%	4.7%	100.0%
地域						
の%						

棒グラフ



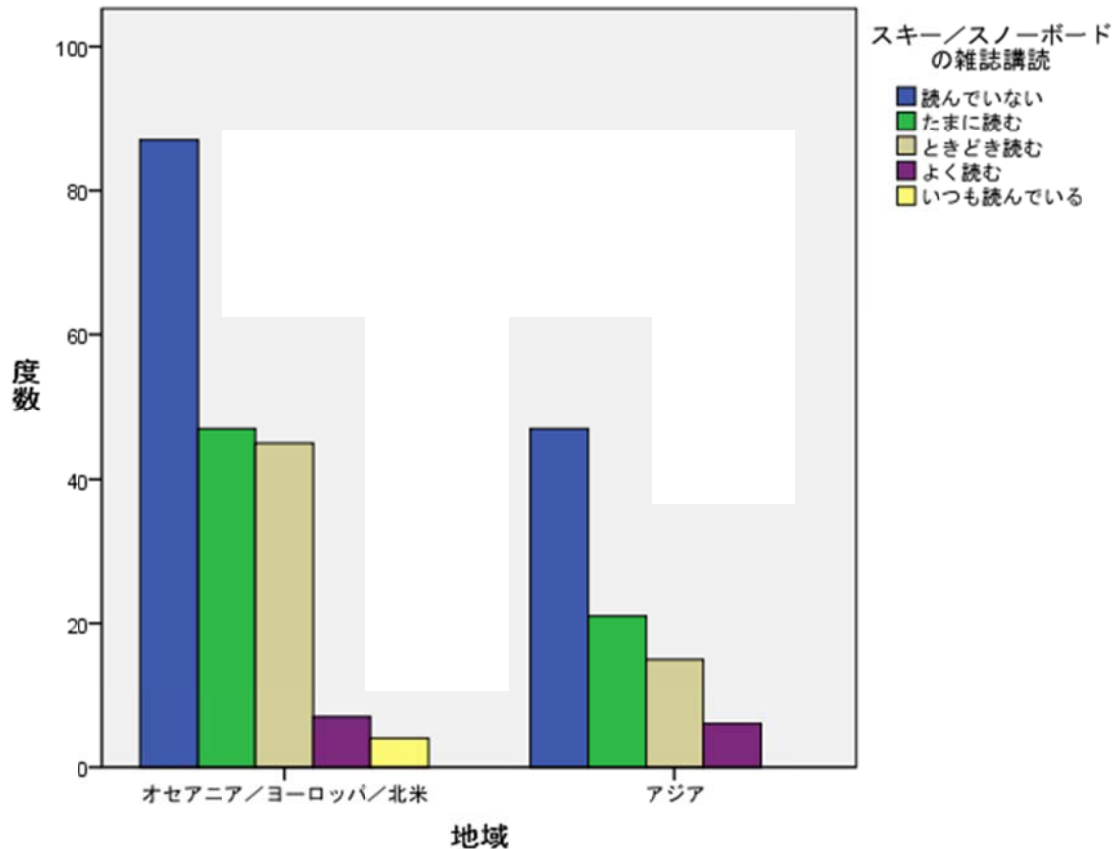
5.2.スキー／スノーボードの雑誌講読

スキー／スノーボードの雑誌を講読している者の割合は、半数程度であった。オセアニア／ヨーロッパ／北米の旅行者、アジアからの旅行者ともに、たまに読む者がもっとも多く、続いてときどき読む者の割合が多くなっており、あまり専門雑誌を講読していないことがわかる。

地域 と スキー／スノーボードの雑誌講読 のクロス表

	スキー／スノーボードの雑誌講読					合計
	読んで いない	たまに 読む	ときどき 読む	よく 読む	いつも 読んでいる	
地域 オセアニア／ヨーロッパ／北米	87	47	45	7	4	190
度数	45.8%	24.7%	23.7%	3.7%	2.1%	100.0%
アジア	47	21	15	6	0	89
度数	52.8%	23.6%	16.9%	6.7%	.0%	100.0%
合計	134	68	60	13	4	279
度数	48.0%	24.4%	21.5%	4.7%	1.4%	100.0%

棒グラフ



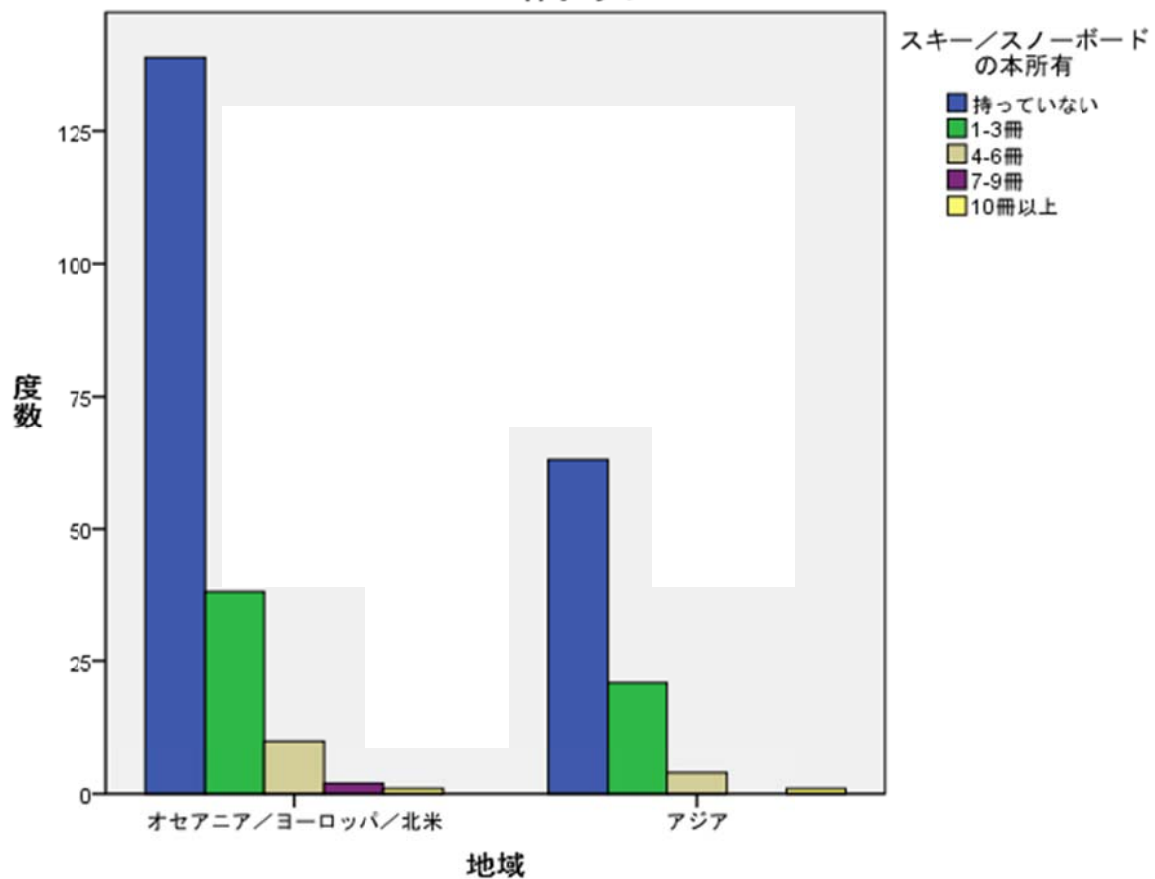
5.3.スキー／スノーボードの本所有

スキー／スノーボードの本を所有している者の割合は3割程度であり、1～3冊しか所有していない者の割合が2割程度と高くなっている。

地域 と スキー／スノーボードの本所有 のクロス表

		スキー／スノーボードの本所有					合計
		持って いない	1-3冊	4-6冊	7-9冊	10冊以 上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ パ／北米	度数 139	38	10	2	1	190
	の 地 域 の %	73.2%	20.0%	5.3%	1.1%	.5%	100.0%
アジア	度数	63	21	4	0	1	89
	の 地 域 の %	70.8%	23.6%	4.5%	.0%	1.1%	100.0%
合計	度数	202	59	14	2	2	279
	の 地 域 の %	72.4%	21.1%	5.0%	.7%	.7%	100.0%

棒グラフ



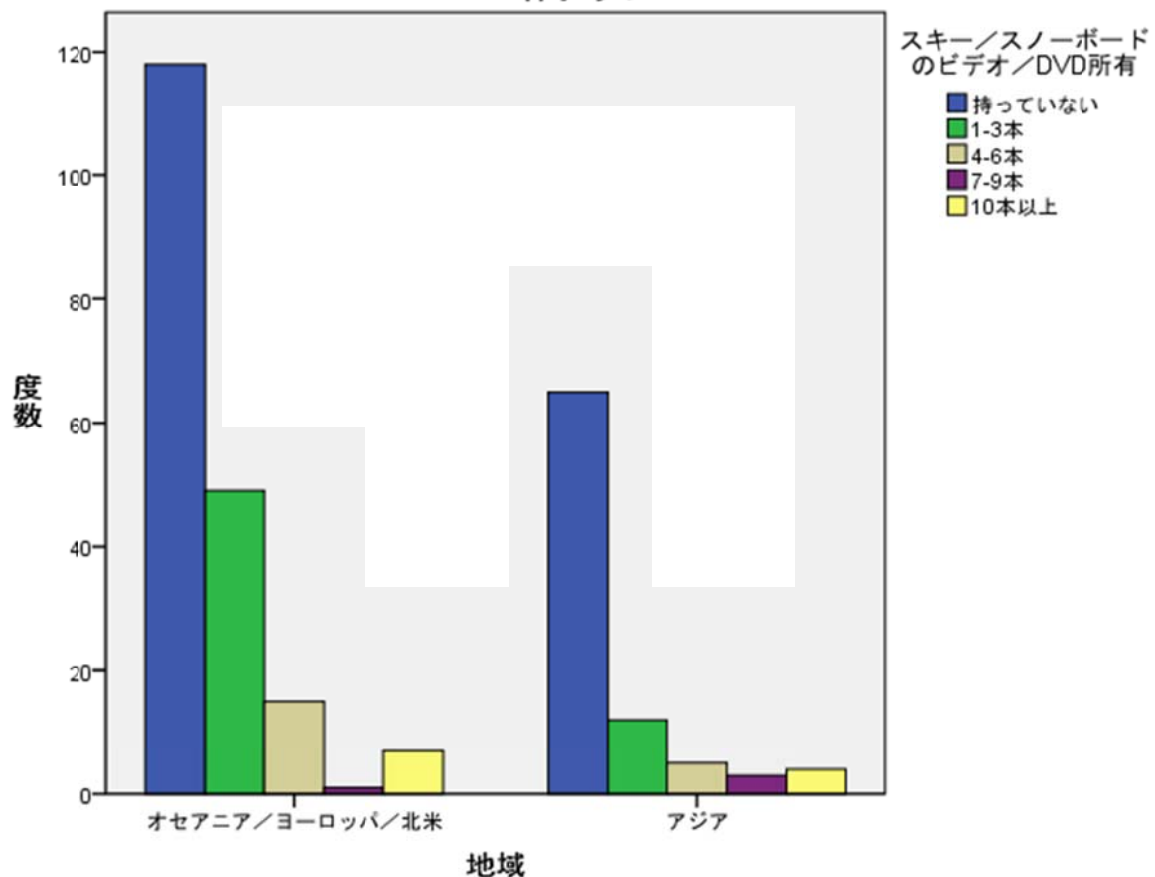
5.4. スキー／スノーボードのビデオ／DVD 所有

スキー／スノーボードのビデオ／DVD を所有している者の割合は 3 割程度であり、1～3 本しか所有していない者の割合が 2 割程度と高くなっている。

地域 と スキー／スノーボードのビデオ／DVD 所有 のクロス表

		スキー／スノーボードのビデオ／DVD 所有					合計
		持って いない	1-3 本	4-6 本	7-9 本	10 本以 上	
地域	オセアニア／ヨーロッパ パ／北米	度数 118	49	15	1	7	190
	の %	62.1%	25.8%	7.9%	.5%	3.7%	100.0%
地域	アジア	度数 65	12	5	3	4	89
	の %	73.0%	13.5%	5.6%	3.4%	4.5%	100.0%
合計	度数	183	61	20	4	11	279
	の %	65.6%	21.9%	7.2%	1.4%	3.9%	100.0%

棒グラフ



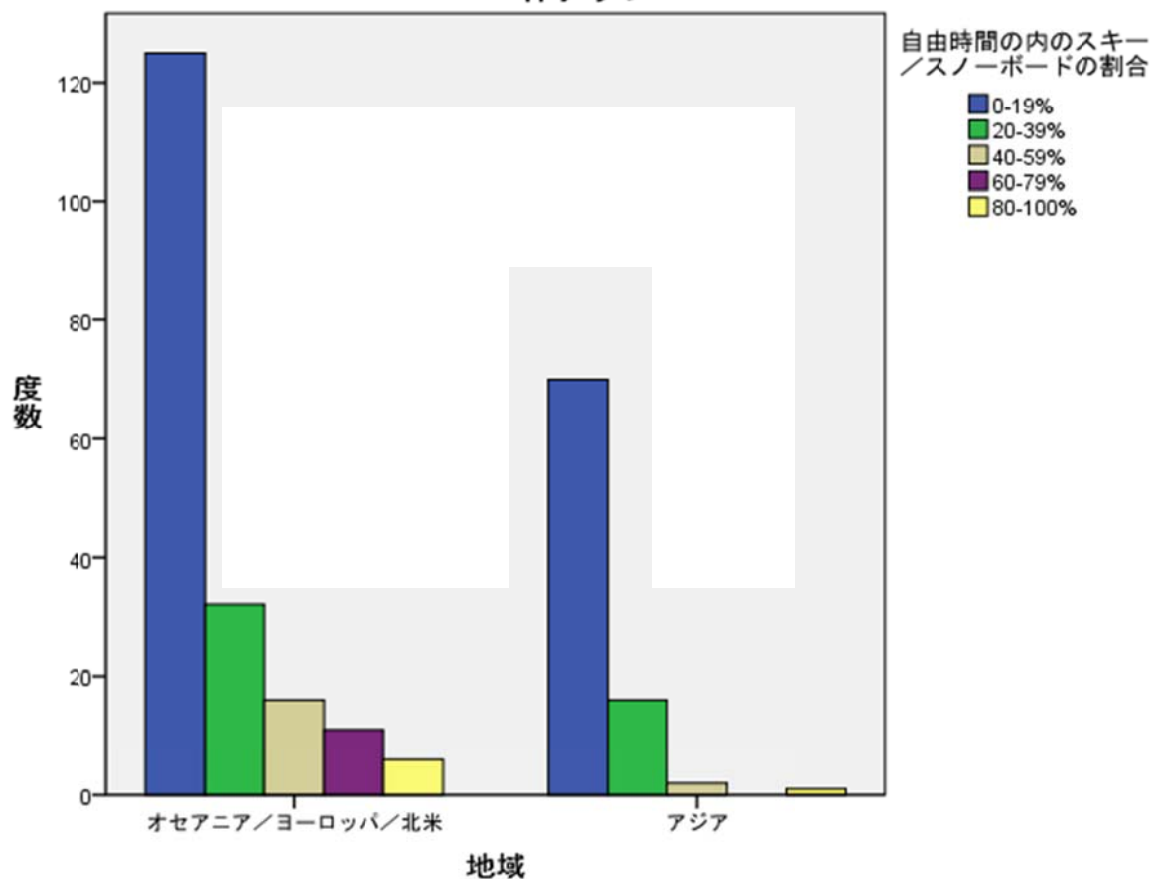
5.5.自由時間の内のスキー／スノーボードの割合

自由時間のなかで、スキー／スノーボードが占める割合は、0～19%の者が約7割であり、20～39%の者が2割弱となっている。オセアニア／ヨーロッパ／北米からの訪問者の方が、アジアからの訪問者よりも、自由時間におけるスキー／スノーボードの割合がやや高い傾向がみられる。

地域 と 自由時間の内のスキー／スノーボードの割合 のクロス表

		自由時間の内のスキー／スノーボードの割合					合計
		0-19%	20-39%	40-59%	60-79%	80-100%	
地域	オセアニア／ヨーロッパ	125	32	16	11	6	190
	／北米	65.8%	16.8%	8.4%	5.8%	3.2%	100.0%
地域	アジア	70	16	2	0	1	89
		78.7%	18.0%	2.2%	0.0%	1.1%	100.0%
合計	度数	195	48	18	11	7	279
	地域の%	69.9%	17.2%	6.5%	3.9%	2.5%	100.0%

棒グラフ



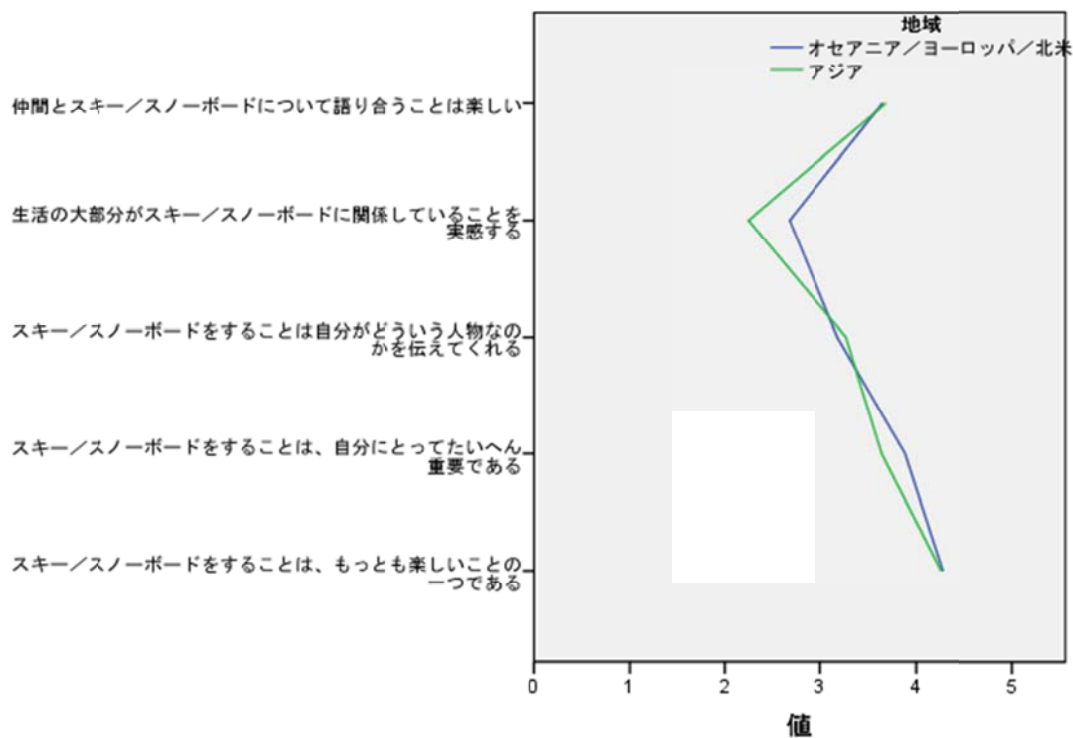
6.1.スキー／スノーボードへの関与度

スキー／スノーボードへの関与度について、5項目の関与測定項目を用いて1点から5点の評定尺度によって測定した。「自分にとってたいへん重要である」と「生活の大部分が関係していることを実感する」の2項目において、オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者の方が、アジアからの旅行者よりも高い平均値となっており差がみられた。

スキー／スノーボードへの関与度

地域	スキー／スノーボードをすることは、もっとも楽しいことの一つである	スキー／スノーボードをすることは、自分にとってたいへん重要である	スキー／スノーボードをすることは自分がどのような人物なのかを伝えてくれる	生活の大部分がスキー／スノーボードに関係していることを実感する	仲間とスキー／スノーボードについて語り合うことは楽しい
オセアニア／ヨーロッパ／北米	4.28	3.88	3.18	2.68	3.65
アジア	4.26	3.64	3.27	2.25	3.69
合計	4.27	3.81	3.21	2.54	3.66

報告書
統計量: 平均値



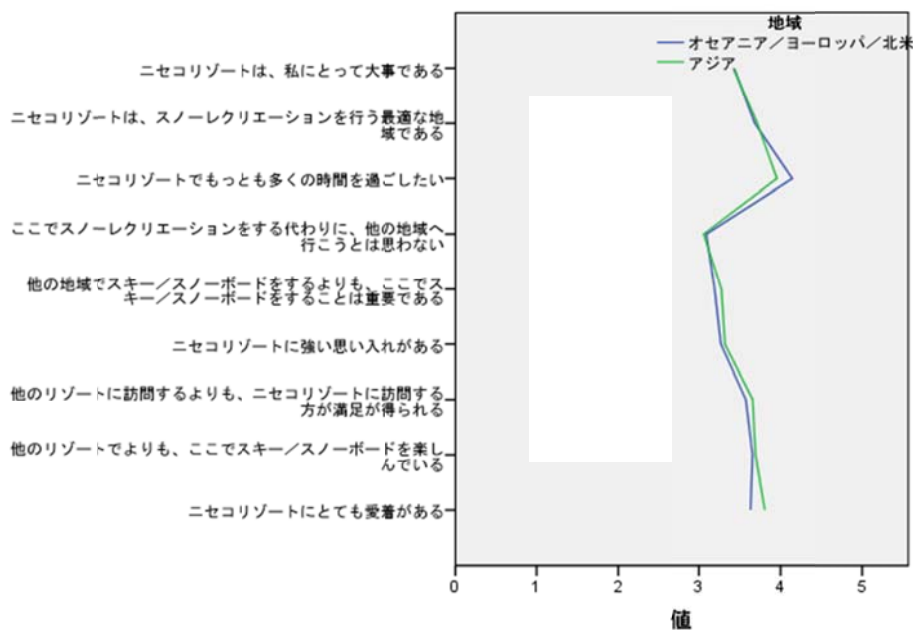
7.1.ニセコリゾートに対する地域愛着

ニセコリゾートという地域に対する愛着について、9項目の地域愛着測定項目を用いて1点から5点の評定尺度によって測定した。いずれの測定項目においても3点以上の高い平均値となっているが、オセアニア/ヨーロッパ/北米からの旅行者とアジアからの旅行者において平均値に差がみられなかった。

ニセコリゾートに対する地域愛着

地域	ニセコリゾートにとっても愛着がある	他のリゾートでよりも、ここでスキー/スノーボードを楽しんでいる	他のリゾートに訪問するよりも、ニセコリゾートに訪問する方が満足が得られる	ニセコリゾートに強い思い入れがある	他の地域でスキー/スノーボードをするよりも、ここでスキー/スノーボードをすることは重要である	ここでスノーレクリエーションをする代わりに、他の地域へ行くとは思わない	ニセコリゾートでもっと多くの時間を過ごしたい	ニセコリゾートは、スノーレクリエーションを行う最適な地域である	ニセコリゾートは、私にとって大事である
オセアニア/ヨーロッパ/北米	3.63	3.66	3.57	3.27	3.19	3.09	4.14	3.68	3.43
アジア	3.81	3.69	3.66	3.32	3.28	3.06	3.95	3.72	3.42
合計	3.69	3.67	3.60	3.29	3.22	3.08	4.08	3.69	3.43

報告書
統計量: 平均値



8.1.スキー／スノーボード旅行の選好（サンプル全体）

スキー／スノーボード旅行をする場合にどういった条件を考慮するのかを明らかにするため、消費者行動を解明する手法であるコンジョイント分析を用いた。雪質、リフト料金、ゲレンデでの遭遇、アフタースキー、という4つの条件について、それぞれの水準を設定した。これらの条件の水準を組み合わせた16の仮想的なスキー／スノーボード旅行を回答者に提示し、1点から10点までの評定尺度によって測定を行った。

もっとも重要視された属性は雪質（35.7%）であり、すばらしい雪質という条件が好まれている。次に重要視された属性はゲレンデでの遭遇（27.8%）であり、スキーヤー／スノーボーダーが少ない条件が良いとされている。続いてアフタースキー（21.9%）の属性が重要視されており、すばらしい宿泊施設があるという条件が望まれている。リフト料金（14.6%）はあまり重要視されておらず、価格が変動することによりあまり反応が示されなかった。

サンプル全体

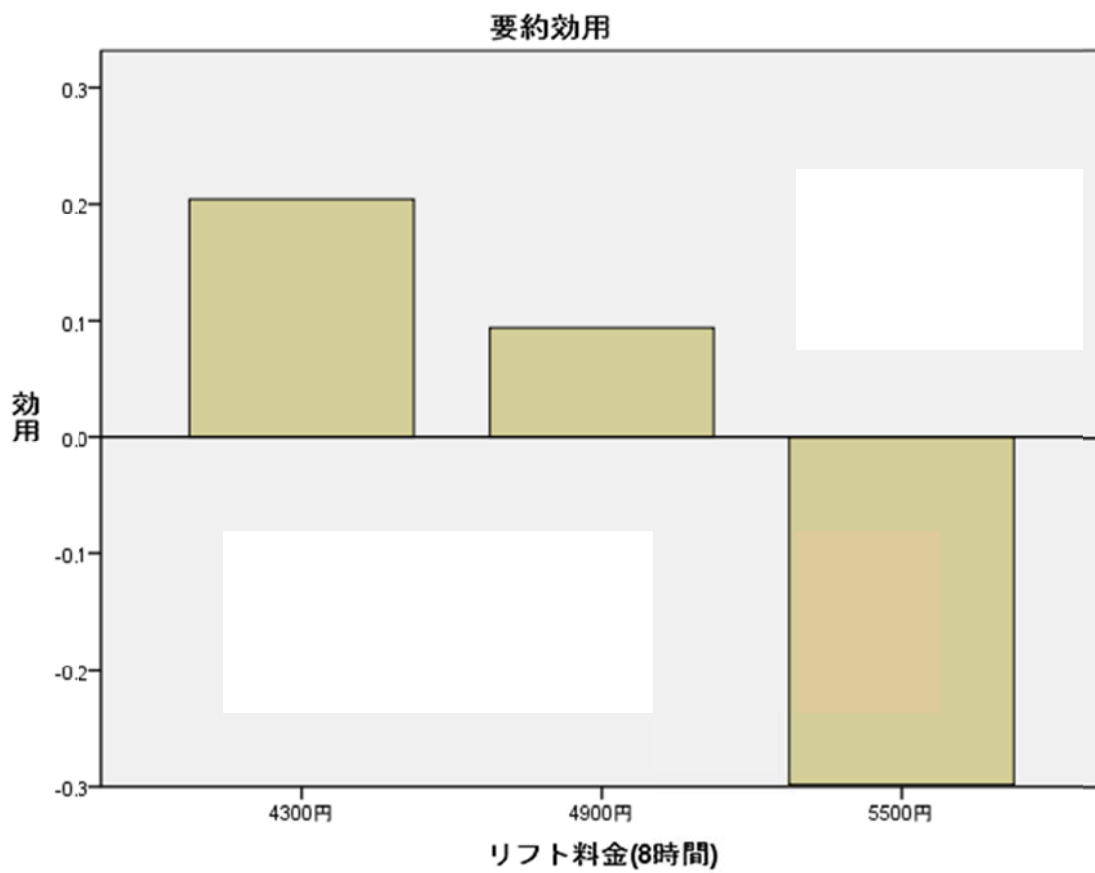
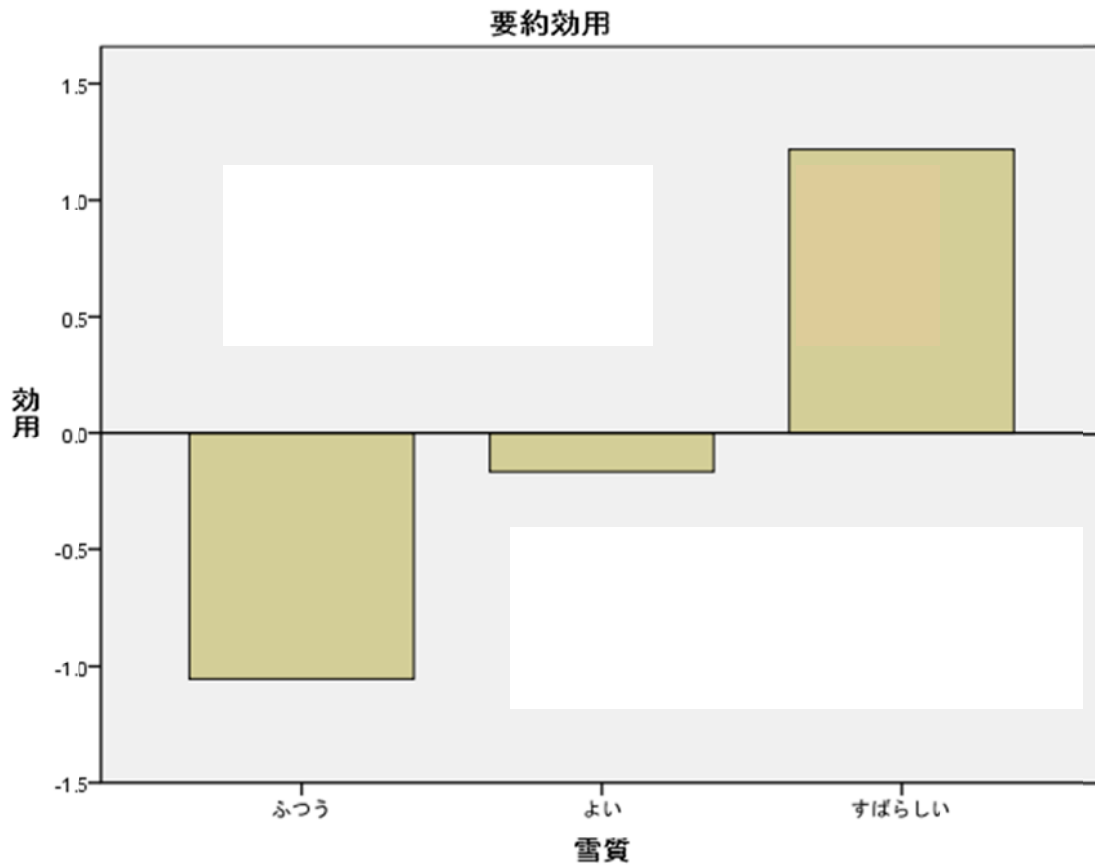
ユーティリティ

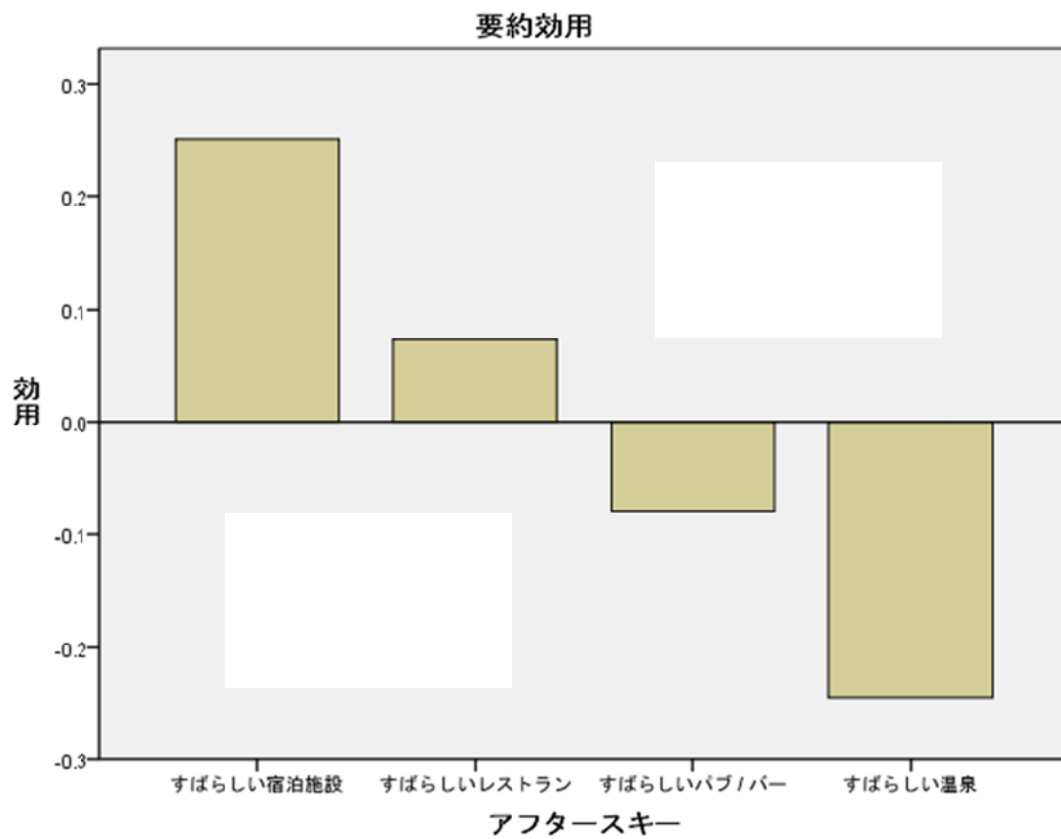
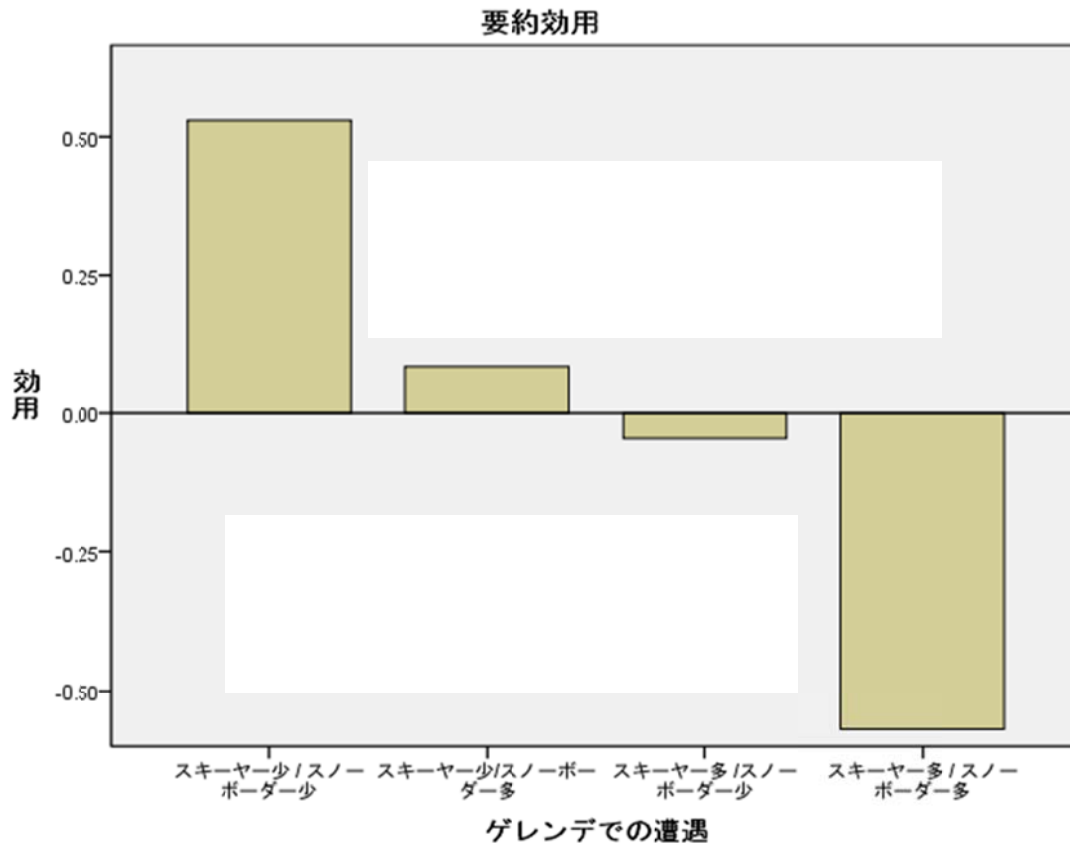
		ユーティリティ 推定値	標準誤差
雪質	ふつう	-1.053	.041
	よい	-.166	.048
	すばらしい	1.220	.048
リフト料金 (8時間)	4300円	.204	.041
	4900円	.094	.048
	5500円	-.298	.048
ゲレンデでの遭遇	スキーヤー少ない / スノーボーダー少ない	.530	.053
	スキーヤー少ない / スノーボーダー多い	.084	.053
	スキーヤー多い / スノーボーダー多い	-.044	.053
	スキーヤー多い / スノーボーダー多い	-.569	.053
	スキーヤー少ない / スノーボーダー多い	.084	.053
	スキーヤー多い / スノーボーダー多い	-.044	.053
アフタースキー	すばらしい宿泊施設	.251	.053
	すばらしいレストラン	.073	.053
	すばらしいバー / パブ	-.079	.053
	すばらしい温泉	-.246	.053
(定数)		6.367	.034

重要度値

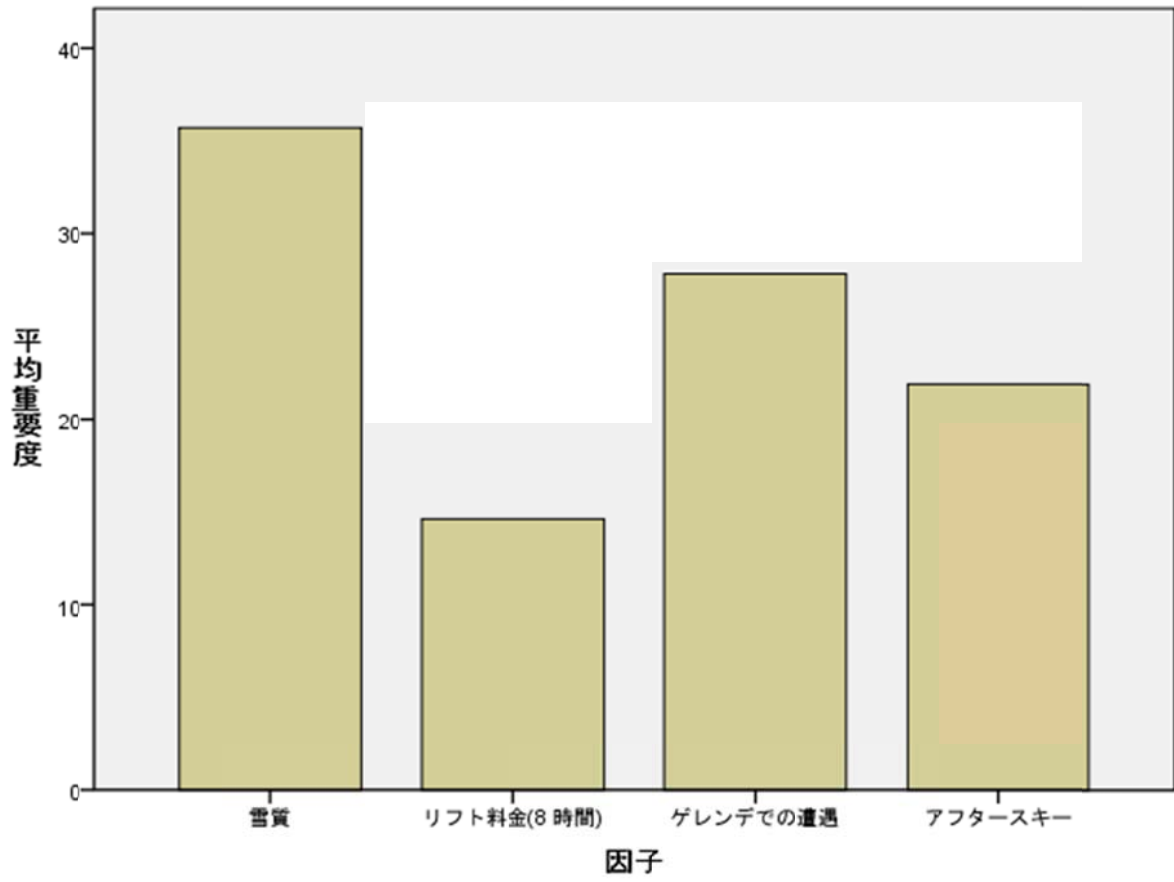
雪質	35.679
リフト料金	14.644
ゲレンデでの遭遇	27.781
アフタースキー	21.896

平均化された重要度得点





重要度の要約



8.2.スキー／スノーボード旅行の選好（オセアニア／ヨーロッパ／北米からの旅行者）

もっとも重要視された属性は雪質（36.6%）であり、すばらしい雪質という条件が好まれている。次に重要視された属性はゲレンデでの遭遇（27.4%）であり、スキーヤー／スノーボーダーが少ない条件が良いとされている。続いてアフタースキー（21.5%）の属性が重要視されており、すばらしい宿泊施設があるという条件が望まれている。リフト料金（14.6%）はあまり重要視されておらず、価格が変動することによりあまり反応が示されなかった。

オセアニア／ヨーロッパ／北米

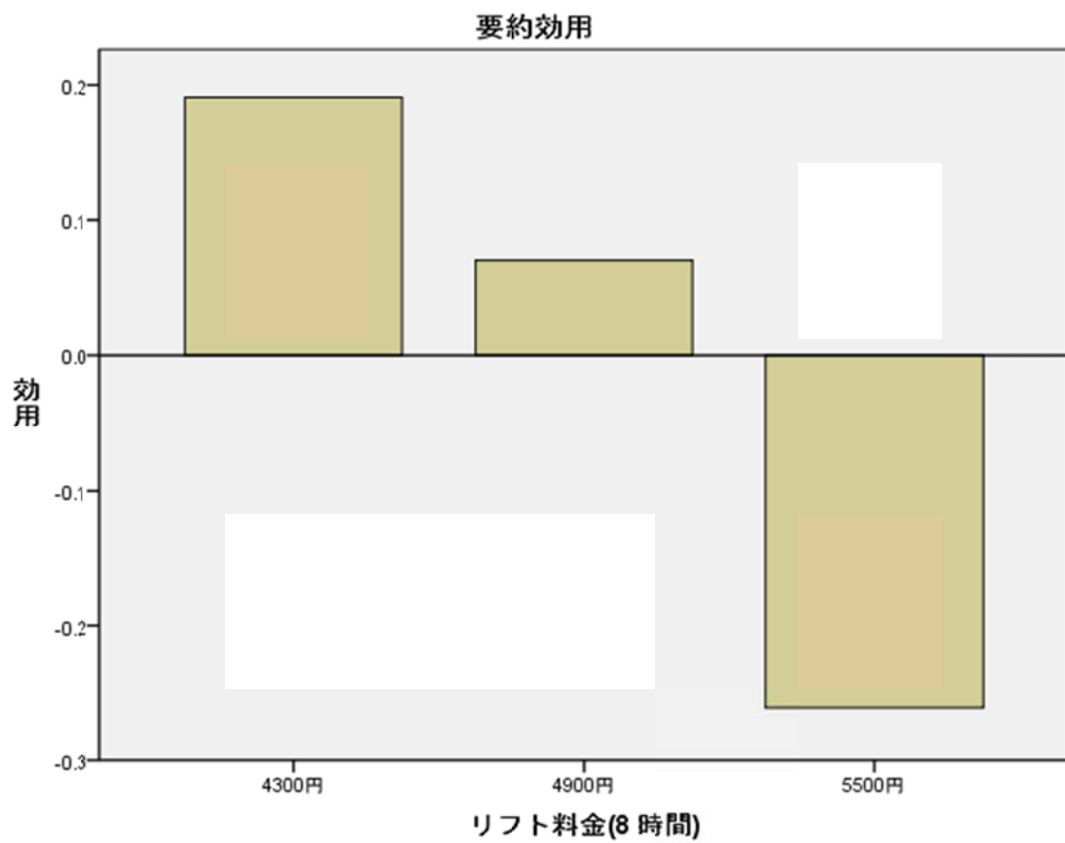
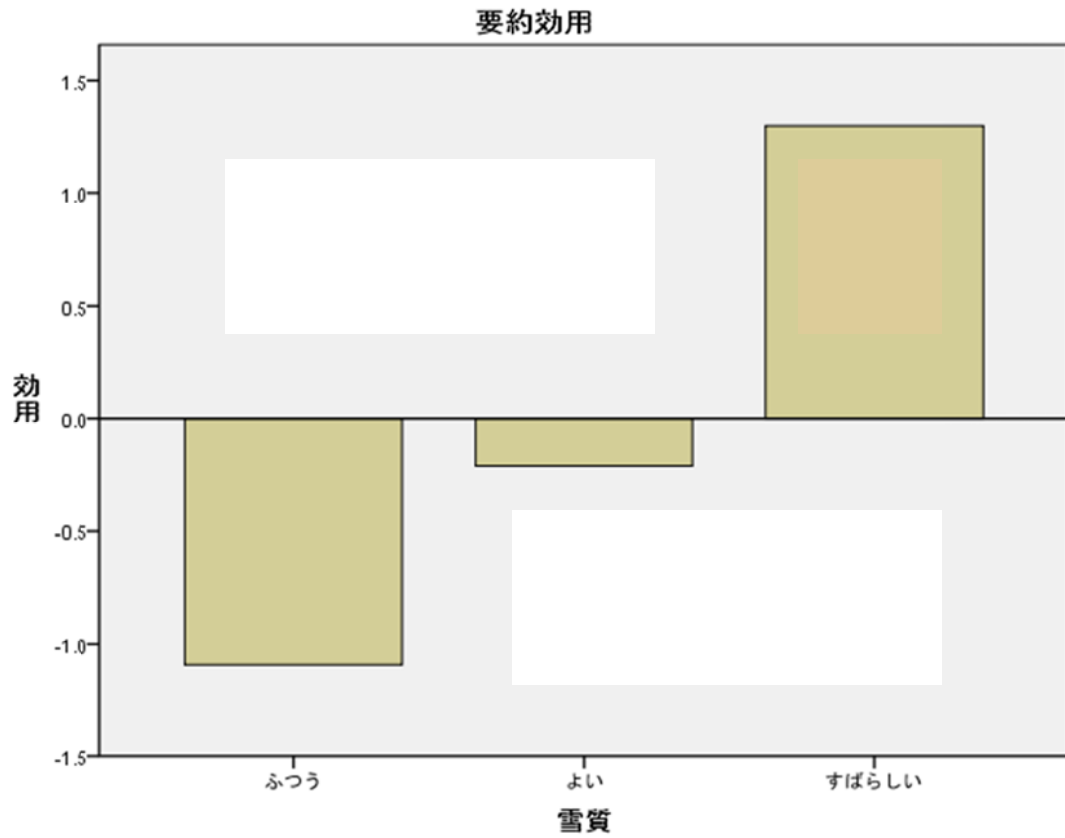
ユーティリティ

		ユーティリティ 推定値	標準誤差
雪質	ふつう	-1.092	.027
	よい	-.209	.032
	すばらしい	1.300	.032
リフト料金 (8 時間)	4300 円	.191	.027
	4900 円	.070	.032
	5500 円	-.261	.032
ゲレンデでの遭遇	スキーヤー少ない	.524	.035
	/ スノーボーダー少ない		
	スキーヤー少ない	.110	.035
	/ スノーボーダー多い		
	スキーヤー多い	-.073	.035
	/ スノーボーダー多い		
アフタースキー	スキーヤー多い	-.562	.035
	/ スノーボーダー多い		
	すばらしい宿泊施設	.235	.035
	すばらしいレストラン	.006	.035
	すばらしいバー / パブ	.048	.035
	すばらしい温泉	-.290	.035
(定数)		6.341	.022

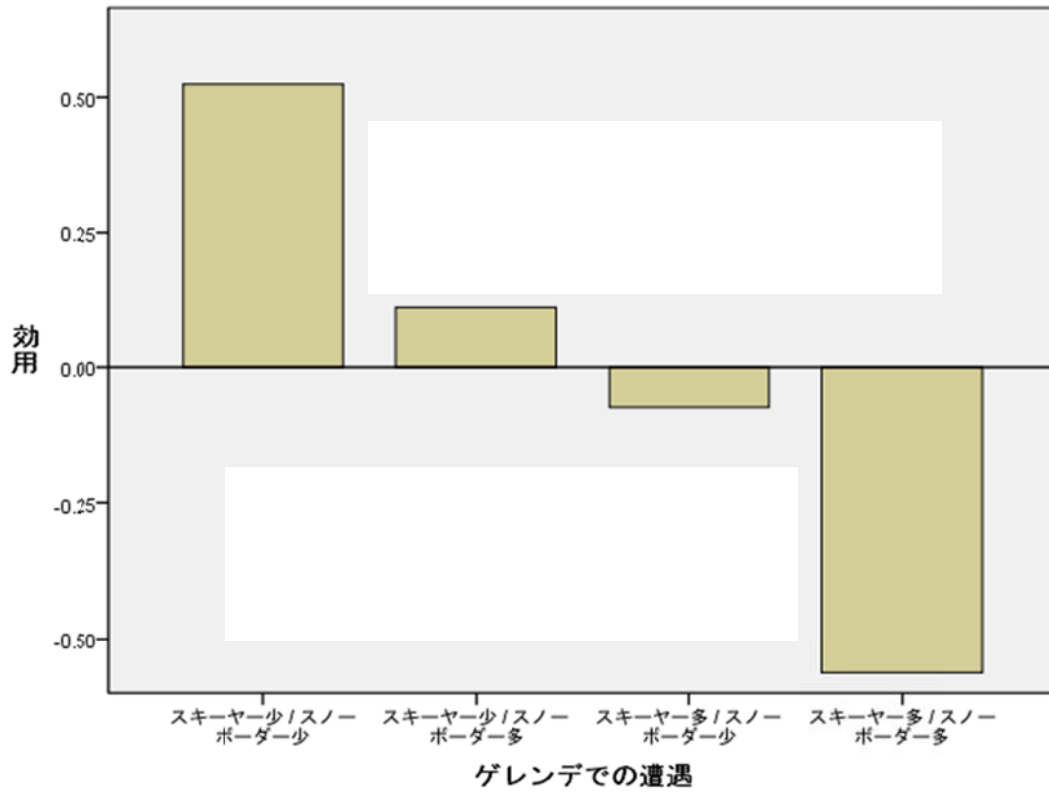
重要度値

雪質	36.545
リフト料金	14.573
ゲレンデでの遭遇	27.408
アフタースキー	21.474

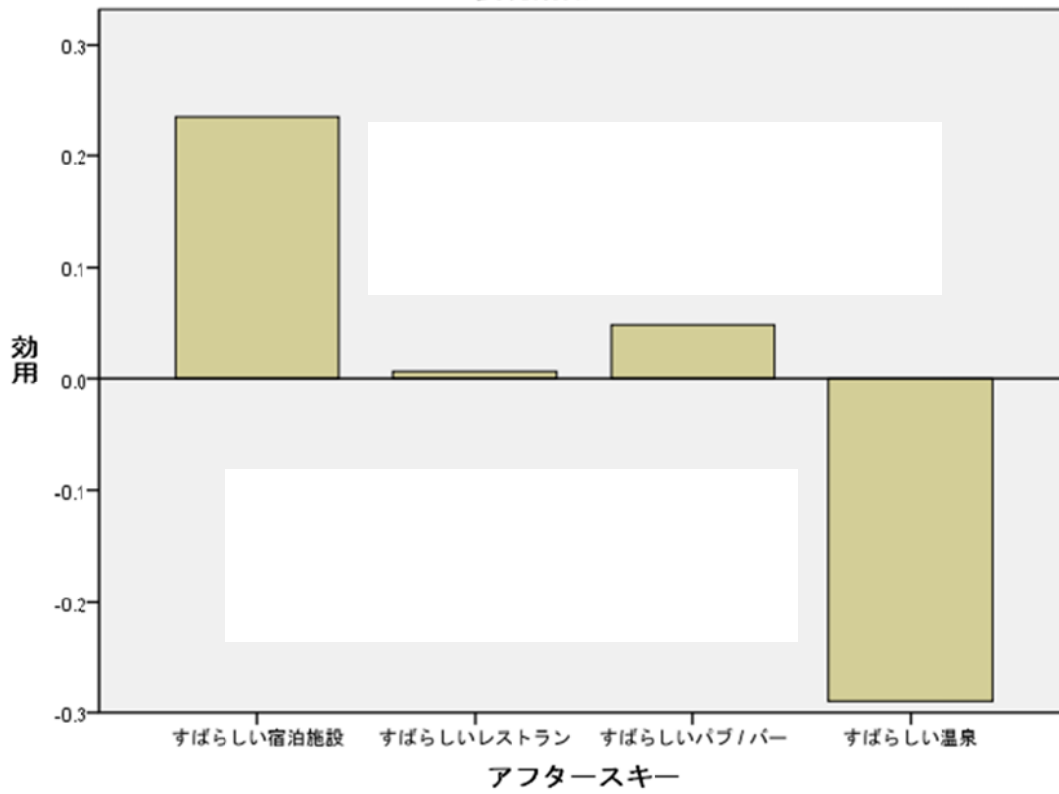
平均化された重要度得点



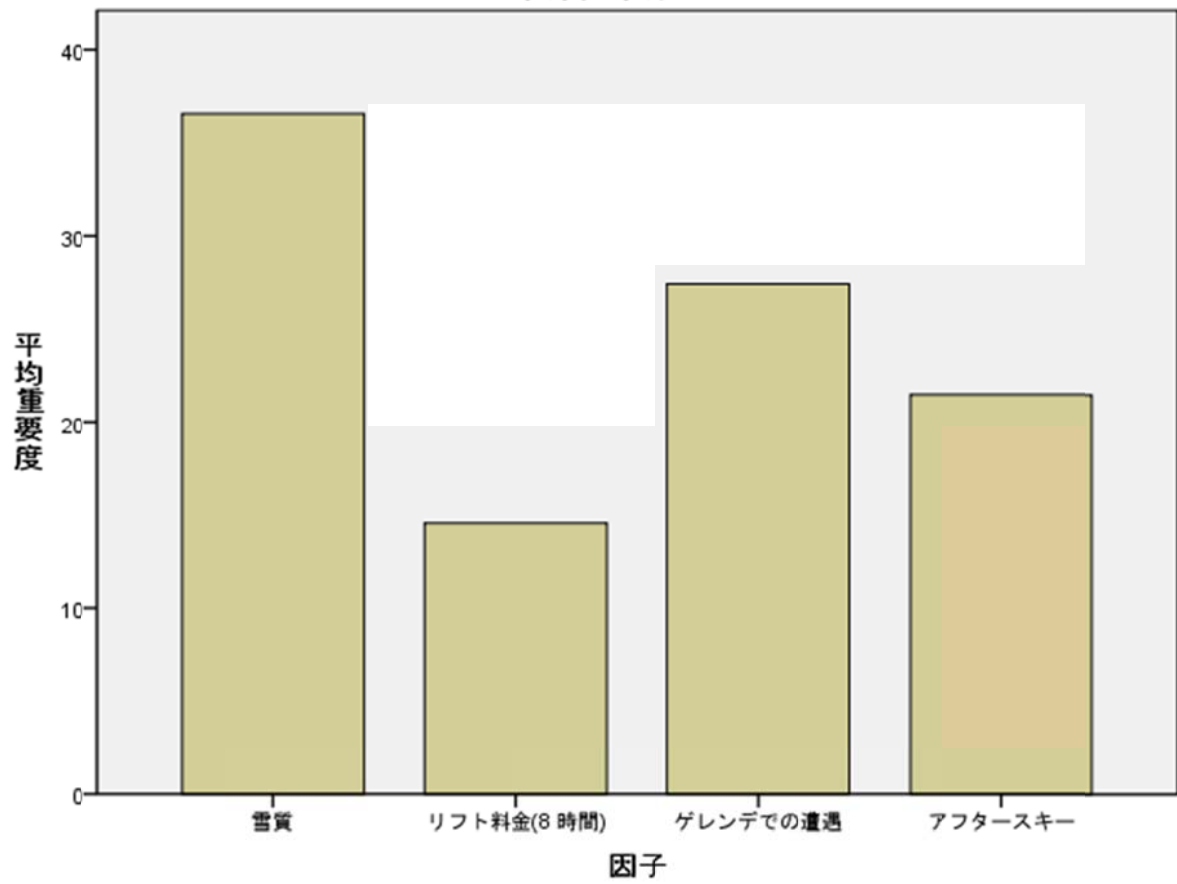
要約効用



要約効用



重要度の要約



8.3.スキー／スノーボード旅行の選好（アジアからの旅行者）

もっとも重要視された属性は雪質（33.6%）であり、すばらしい雪質という条件が好まれている。次に重要視された属性はゲレンデでの遭遇（28.6%）であり、スキーヤー／スノーボーダーが少ない条件が良いとされている。続いてアフタースキー（22.9%）の属性が重要視されており、すばらしい宿泊施設がある、すばらしいレストランがあるという条件が望まれている。リフト料金（14.9%）はあまり重要視されておらず、価格が変動することによりあまり反応が示されなかった。

アジア

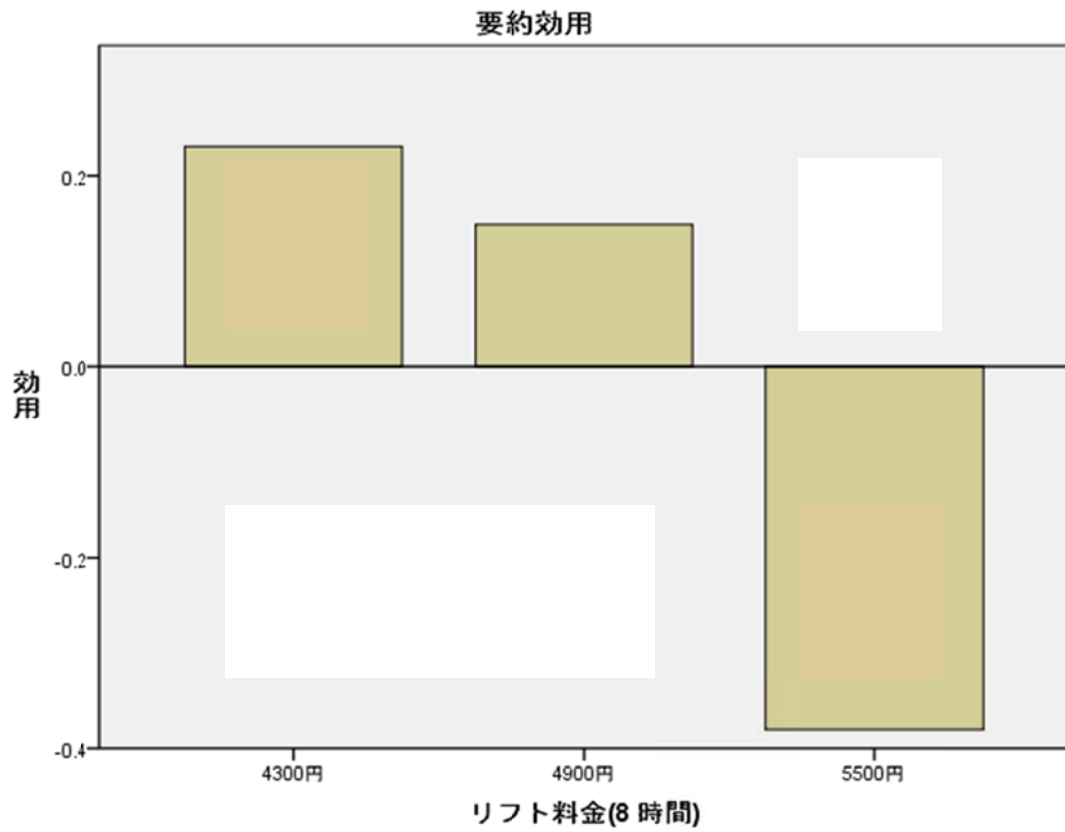
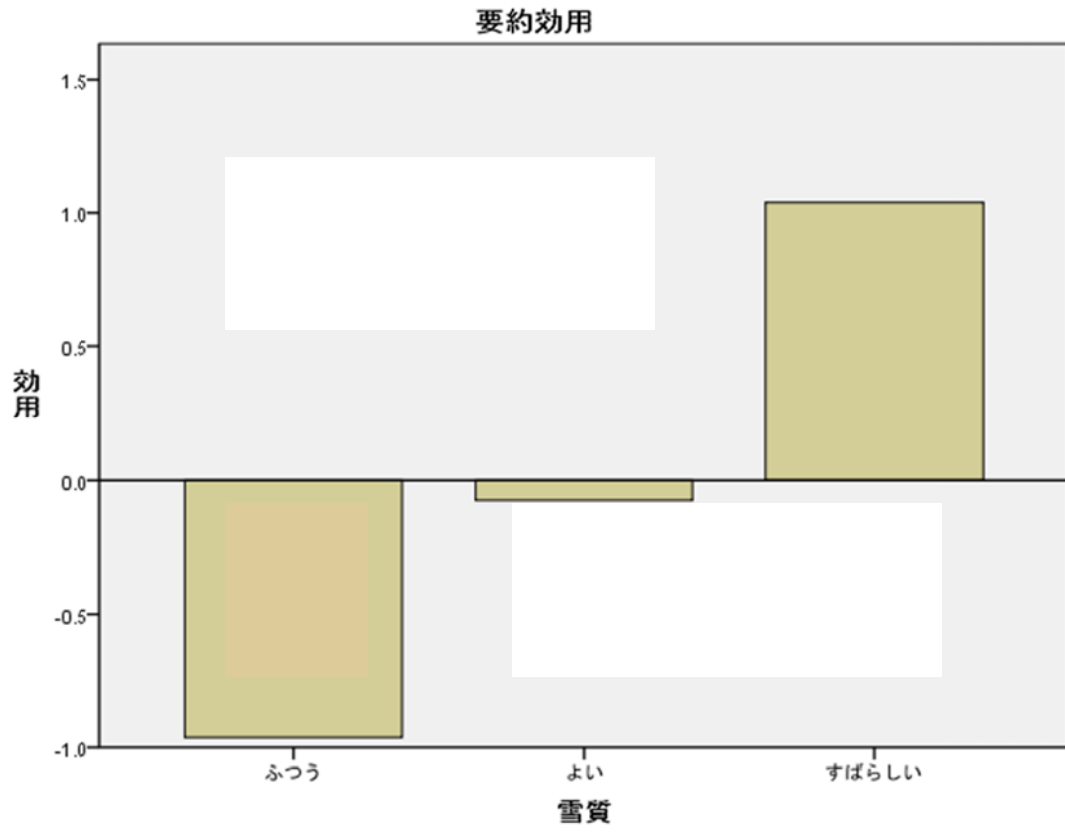
ユーティリティ

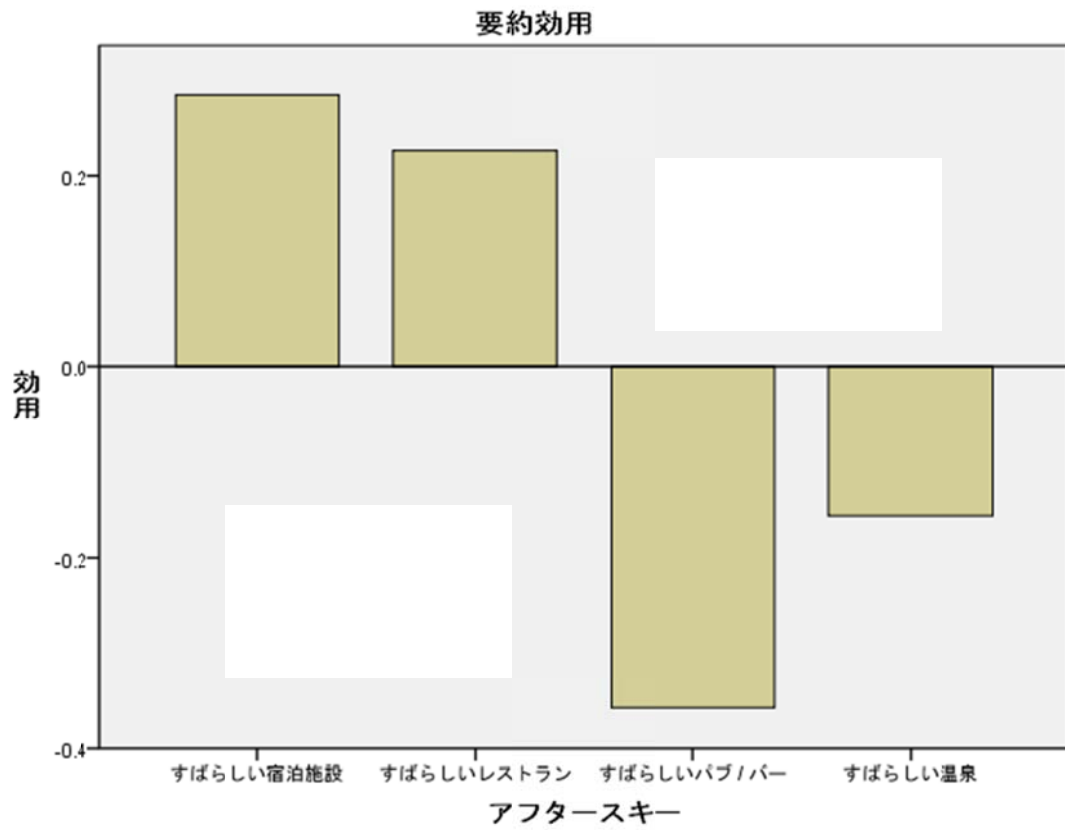
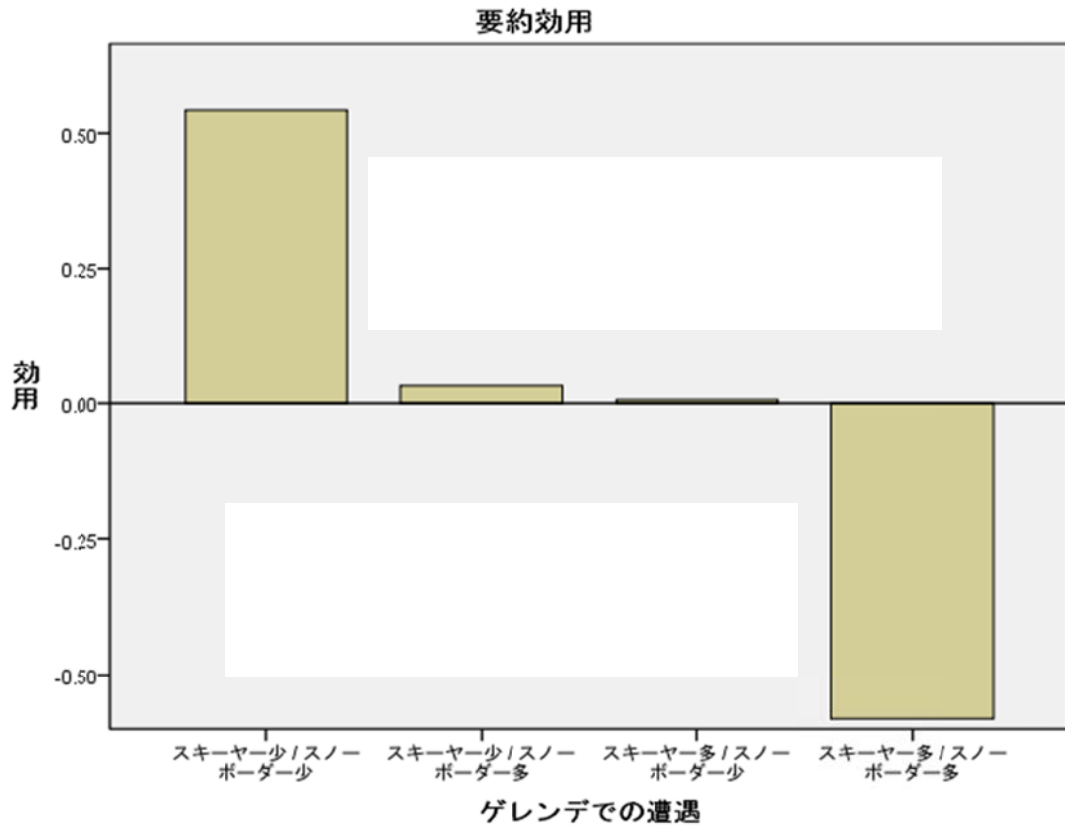
		ユーティリティ 推定値	標準誤差
雪質	ふつう	-.963	.077
	よい	-.075	.091
	すばらしい	1.038	.091
リフト料金 (8 時間)	4300 円	.232	.077
	4900 円	.149	.091
	5500 円	-.380	.091
ゲレンデでの遭遇	スキーヤー少ない	.542	.101
	/ スノーボーダー少ない		
	スキーヤー少ない	.032	.101
	/ スノーボーダー多い		
	スキーヤー多い	.006	.101
	/ スノーボーダー多い		
アフタースキー	すばらしい宿泊施設	.286	.101
	すばらしいレストラン	.227	.101
	すばらしいバー / パブ	-.357	.101
	すばらしい温泉	-.156	.101
(定数)		6.410	.064

重要度値

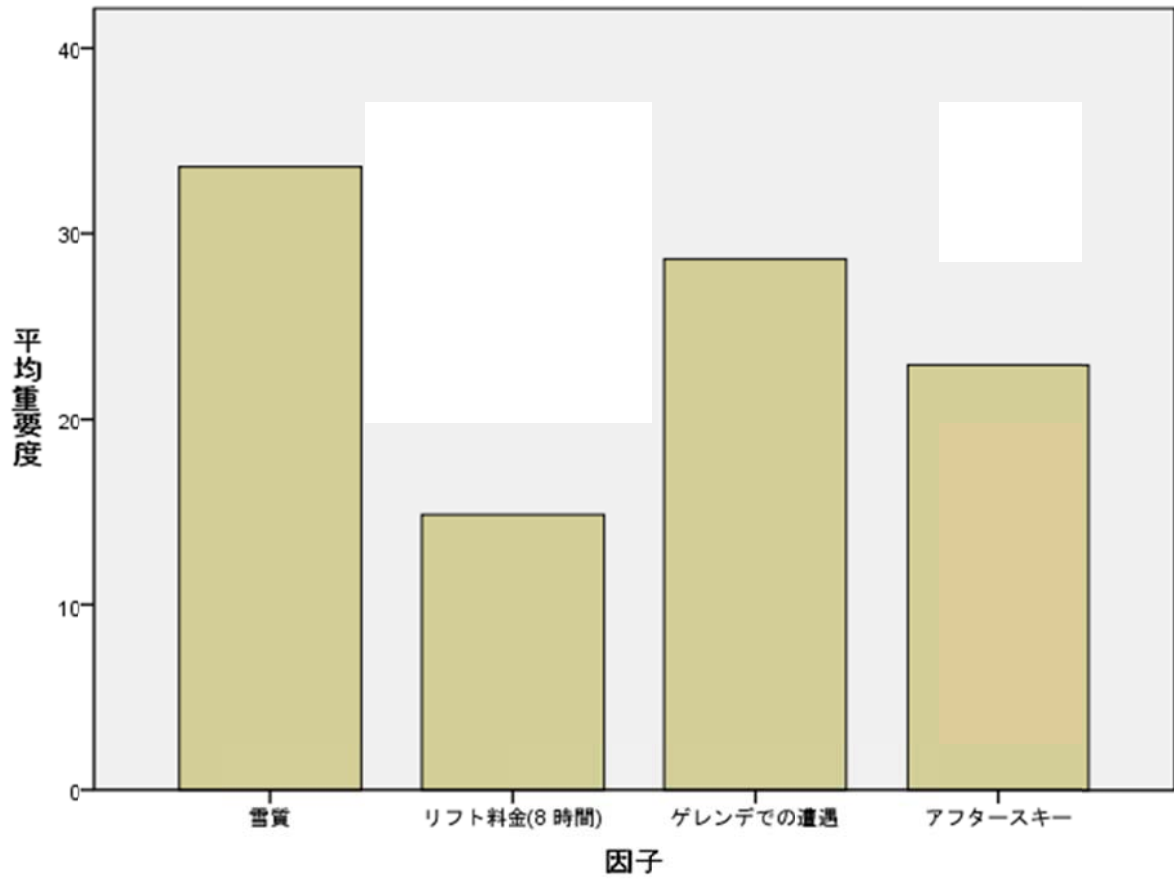
雪質	33.561
リフト料金	14.879
ゲレンデでの遭遇	28.626
アフタースキー	22.934

平均化された重要度得点





重要度の要約



[速報] 外国人スキーヤー&スノーボーダー調査研究レポート

調査研究グループ：

「北海道ニセコリゾート」調査研究プロジェクトチーム

二宮浩彰（同志社大学 スポーツ健康科学部 教授）＜研究代表者＞

工藤康宏（神奈川大学 人間科学部 准教授）＜研究分担者＞

石澤伸弘（北翔大学 生涯学習システム学部 准教授）＜連携研究者＞

調査員：

株式会社 ケーズウェブ

谷宇

北海道大学大学院 博士後期課程

王万永

京都外国語大学 外国語学部 中国語学科 4 回生

三輪真武

神奈川大学 人間科学部 工藤ゼミ 2 回生

阿部優貴

新井啓修

伊藤侑希子

土橋彩夏

山下雄己

調査協力者：

株式会社 東急リゾートサービス グラン・ヒラフ アウトドア事業部

部長 佐藤文雄

一般社団法人 ニセコプロモーションボード

事務局長 國枝弘二

データ入力協力者s：

同志社大学 スポーツ健康科学部 3 回生

河村真也子

発行 2011 年 3 月 30 日

同志社大学スポーツ健康科学部二宮浩彰研究室

〒610-0394 京都府多々羅都谷 1-3 磐上館 315 号室

Tel & Fax 0774-65-7536

E-Mail hninomiya@mail.doshisha.ac.jp

- 本調査研究レポート[速報]の掲載記事・図表の無断転用を禁ず。
- 今後、スキー&スノーボードの専門化という分析枠組みを用いて、訪日外国人スポーツ・ツーリスト行動研究の学会発表、論文執筆を予定している。